

平成24年度

入学者選拔要項

YNU
横浜国立大学

目 次

I	横浜国立大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
II	入学者選抜の概要	
	1. 募集人員	7
	2. 選抜方法等概要	
	(1) 一般入試、専門高校卒業生入試	8
	(2) アドミッション・オフィス入試、特別入試	9
III	一般入試	
	1. 入学者選抜の実施方法	10
	2. 出願資格	10
	3. 一般入試実施日程	11
	4. 併 願	12
	5. 出願に関する各学部別の留意事項	12
	6. 2段階選抜について	13
	7. 一般入試に係る入試情報の開示について	13
	8. 入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）	
	(1) 教育人間科学部	14
	(2) 経済学部	16
	(3) 経営学部（昼間主コース・夜間主コース）	18
	(4) 理工学部	20
	9. 教育人間科学部実技検査	22
	10. 教科・科目名の表記について	23
IV	専門高校卒業生入試	
	経営学部（夜間主コース）	24
V	アドミッション・オフィス入試（AO入試）	
	(1) 教育人間科学部学校教育課程（教科教育コース）	25
	(2) 理工学部	27
	(3) 秋期入学特別入試（平成24年10月入学）	31
VI	特別入試	
	1. 推薦入試	
	(1) 教育人間科学部	32
	(2) 経営学部（昼間主コース）	33
	(3) 経営学部（夜間主コース）	34
	(4) 理工学部	35
	2. 帰国生徒入試、外国学校出身者入試	
	(1) 教育人間科学部	37
	(2) 経済学部	38
	(3) 経営学部（昼間主コース）	39
	3. 社会人入試	
	経営学部（夜間主コース）	40
	4. 特別入試における小論文及び面接の内容	41
VII	私費外国人留学生の入学者選抜方法等	42
VIII	障害等のある入学志願者の事前相談について	45
IX	募集要項（願書）の配付	46
	交通案内・キャンパス案内	48

I 横浜国立大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

— 横浜国立大学では、社会に貢献できる意欲的な学生を求めます —

■ 真の実力を得たい！

社会においてリーダー的存在になる真の実力を得たい人

■ 洞察力を磨きたい！

科学的探求心を尊重し、チャレンジ精神に基づく研究・創造の場を通して、深い知識と洞察力を獲得したい人

■ 世界の舞台で活躍したい！

国際性溢れる環境の中で、外国人学生と共にコミュニケーション能力を高め、世界に発信・飛躍したい人

■ 高度な専門知識で社会に貢献したい！

大学院に進学し、さらに高度な専門的知識を身につけ、専門的な職種や職業で社会に貢献したい人

自然に恵まれた常盤台キャンパスで学問を学び、世界中からの友と語りつつ、柔軟な発想と総合的・創造的な課題探求・解決能力を身につけ、社会の中核となってグローバルな共生社会に貢献したいと思う人を求めています。

【横浜国立大学学士課程の教育目標】

横浜国立大学の4つの精神—実践性・先進性・開放性・国際性—を踏まえて、本学は大学全体としての学士教育の更なる充実に向けた教育目標を定め、学内の各組織はそれぞれが担うべき学士課程の教育目標および育成人材像を明確にして、体系的な教育を実施します。

- (1) 学芸・諸学科に関する豊かな知的資産を学び、それらを活かす高度な実践的能力を備え、社会の中核となって活躍できる人材を育成する。
- (2) 研究成果に基づく教育を通して、豊かな知性・感性を養うとともに諸課題を解決に導く思考力や判断力を磨く。
- (3) 社会・文化・自然の多様性を尊重しつつ国や社会を超えて多様な人々と交流し、共生社会の実現を図る高いコミュニケーション能力を養う。
- (4) 高い倫理観を養いつつ積極的に課題を探求し、解決する強い意欲や責任感を高める。

※本学の詳細な教育目標・方針については、本学WEBサイトに掲載の『「学士力」を磨く YNU initiative』をご覧ください。

横浜国立大学各学部の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 教育人間科学部

教育人間科学部は、問題意識を抱き、未来を切り拓いていこうとする人を求めます。

教育人間科学部は、高等学校までの基礎的な学力をしっかりと身につけた上で、複雑化する教育・文化・社会の現状に強い知的関心や問題意識を持ち、自ら積極的に関与し未来を切り拓いていこうとする高い志をもった人を求めています。

■ 社会の様々な矛盾と連動する教育の諸課題に強い関心や問題意識を持ち、自ら教育の場に身を置き、個々の子どもたちの成長を支えつつ、教育の未来を切り拓くことで社会に貢献し、自己実現を図りたい人

■ 現代の先端的な芸術・文化やサブカルチャーなどに広い関心や問題意識を持ち、種々のメディアを活用しつつ、自ら表現者として、あるいは公共の側から創造活動を支援する者として社会に貢献し、自己実現を図りたい人

■ 流動的で多元化する社会に深い関心や問題意識を持ち、外国語能力を含む高いコミュニケーション能力を身につけ、多様な人々や異なる文化の間に媒介者として立って活動することで、社会に貢献し、自己実現を図りたい人

【教育人間科学部の教育目標】

横浜国立大学は、大学全体の理念として「人類の福祉と社会の持続的発展に貢献する」ことを謳っています。

教育人間科学部は、この理念を実現していくために、学校教育課程、人間文化課程の2つの課程を通して、社会の中核となって活躍する人材の育成を目指しています。

【試験科目設定の意図に関するアドミッション・ポリシーは、15ページを参照してください。】

2. 経済学部

経済学部では、実践的「知」を身に付けたい意欲的な学生を求めています。

経済学部は、数理的・論理的分析と国際コミュニケーション能力を重視していることから、入学者は、高等学校における基本科目の幅広い学習に加え、数学や英語の基礎的学力を備えていることが必要です。その上で、次のような意欲ある人を求めています。

■ 情報を自らの思考で編集し、自ら発信したい！

必要な情報にアクセスするだけでなく、自己の思考によってそれを編集し、更には自ら情報を発信していく力をつけようとする人

■ 実践力を身につけたい！

知的好奇心にあふれるとともに、新しい見方やアイデアを具体化していくプラグマティックな能力を身につけようとする人

【経済学部の教育目標】

1923年の横浜高商創設以来、理論と現実のバランスのとれた教育、貿易港横浜を背景とした国際色豊かな教育、数学・外国語・情報処理の基礎的学力を習得させる教育を培ってきました。こうした伝統に立ち、現代の課題と向き合う研究を活かし、経済学に基づく明晰な理論的思考力、地域固有の歴史や制度を深く洞察できる能力、グローバル化する経済の仕組みを理解できる広い国際的視野を備えた人材の育成を目指します。

・ 経済システム学科 経済コース

市場システムや公共経済システムなどの経済社会の仕組みに対する体系的な認識力と分析力を養い、問題解決力を身につけることを目指します。

・ 経済システム学科 法と経済コース

法と経済の相互作用を学び、法律知識と複眼的発想を活かして社会で活躍することを目指します。

・ 国際経済学科

グローバル化する経済の仕組みを理解するとともに、各地域に固有の歴史・制度・文化・環境などに対する深い理解を得ることを目指します。

【試験科目設定の意図に関するアドミッション・ポリシーは、17ページを参照してください。】

3. 経営学部

経営学部では、社会の発展に貢献したい意欲的な学生を求めています。

企業は多面的な要素（ヒト、モノ、カネ、情報）と活動（研究開発、調達、生産、販売など）から構成され、複雑化しています。企業や組織の抱える問題に対する答えを出すのは容易ではありません。その答えを探す努力を惜しまない、次のような学生を求めています。

- 企業をはじめとする各種組織の経営に関する問題に興味のある人
- 興味を持ったら、その中の何かに対して疑問を持てる人
- 疑問を持ったら自ら解決に向かって行動できる人
- その過程で困難に出会っても積極的に立ち向かえる人

【経営学部の教育目標】

理論と実践の統合を迫及する教育を実施することで、企業・組織が行う多様な計画・活動・運営・評価に関する問題発見と、その創造的解決ができる能力を養います。それを通じて今日の高度に複雑化した社会の中で、情報を的確に分析・判断し、環境にも配慮しつつ、国際的にも活躍できる人材を育成します。

・ 経営学科

国際化・情報化・環境問題のような21世紀の諸課題に対処するという観点から、新しい企業経営の方向性を探究することのできる、多角的な視野を持った人材を育成します。

・ 会計・情報学科

会計のスペシャリストの育成を目指し、会計情報の作成、それを利用した分析および会計情報が企業を中心とした他の組織体に与える影響を理解できる人材を育成します。

・ 経営システム科学科

数量的手法や情報技術を用いて、経営資源を有効に活用し、経済成果を生むための「科学的手法」を身につけ、合理的な問題解決能力を有する人材を育成します。

・ 国際経営学科

企業の国際的活動やその根底にある社会経済的制度について十分な理解力とコミュニケーション能力を有する国際的に活躍できる人材を育成します。

【試験科目設定の意図に関するアドミッション・ポリシーは、19ページを参照してください。】

4. 理工学部

理工学部では、理工学の学びを通して実践的「知」を身につけたい意欲的な学生を求めます。

- 自然科学の真理探究や独創的なもの作りを通して、自ら成長・発展しようとする人
- 何ごとにも旺盛な好奇心を持ち、失敗をおそれない、チャレンジ精神にあふれている人
- 新しい時代に対応できる理工系のセンスと国際的な視野を磨こうとする人
- 胸がときめくようなアイデアを確かな知識と技術で実現しようとする人
- 我が国が世界から信頼される存在となるよう、自分の仕事を通じて貢献したいと願う人

【理工学部の教育目標】

地球規模の環境問題など社会の要請を把握し、自然科学の真理を追究し、産業を発展させ、輝ける未来を切り開くために研究者・技術者の果たすべき役割はより大きくなっています。実践的学術の国際拠点を目指す本学・理工学部では、自らの専門分野における専門能力と高い倫理性を持ち、広く科学技術に目を向ける進取の精神に富む人材育成を目的とします。

(1) 機械工学・材料系学科の入学受入方針

機械工学または材料工学に興味を持ち、それらを用いて環境に調和した心豊かな社会を構築することに貢献したい人を求めます。自由と責任を有する大人としての自律性と、基盤となる数学・物理・化学の基礎的能力とを持ち、大学において自らの能力を高めようとする意欲を持つ人を求めます。

①機械工学教育プログラム

- ・ハイテクノロジー時代を代表する自動車、流体機械、ロボットなどの各種機械に強い関心を持つ人
- ・機械工学の研究、機械や機械システムの開発・設計・生産等の分野で活躍したいと希望する人

②材料工学教育プログラム

- ・物理や化学に基づいた、材料の様々な性質を生み出す仕組みの解明に興味のある人
- ・材料工学に強い関心を持ち、新材料や新規機器の開発分野で活躍したいと希望する人

(2) 化学・生命系学科の入学受入方針

自然の真理追究・ものづくり・エネルギー・環境・安全・生命に関心を抱き、自然科学を真摯に学ぼうとする熱意とそれに相応しい素養を持ち、豊かな 21 世紀における人間社会の構築を目指したいと考えている人を求めます。

向学心に燃え、また発想が豊かで柔軟性のある応用力を発揮できる人を求めます。

①化学教育プログラム

- ・化学の基本知識を中心に据え、あらゆる自然科学の知識を活用して物質の世界の真理を原子や分子レベルから探求する科学研究者、および最先端化学とその利用に関わる科学技術者を目指す人

②化学応用教育プログラム

- ・化学の基本知識を応用し、物理を活用して、高度な化学反応プロセスや先端材料、新エネルギー材料の開発、実践的な安全管理や環境創出といった未来社会への課題解決に貢献できる技術者・研究者を目指す人

③バイオ教育プログラム

- ・生物学、化学、物理学に立脚した現代生物学の方法を通して生命を理解し、その成果を食料問題や生命・医療などのグローバルセキュリティ課題の解決に応用できる技術者・研究者を目指す人を求めます。

(3) 建築都市・環境系学科の入学者受入方針

建築都市・環境系学科は、建築から、都市、地域生態系、海洋、地球、宇宙へと広がる人々が暮らし活動する空間とその環境に興味を抱き、創造性、自発性、探究心、行動力にあふれた人を求めます。

①建築教育プログラム

- ・建築の思想や芸術から工学まで、建築に関して幅広く学び、未だに存在しない空間や建築を都市の中に構想できるような建築家になりたい人
- ・自然災害に強く安全な建築や街づくりに貢献したいと願い、そこに集い住まう人たちの生命と財産を守ることができる建築構造エンジニアや建築構造デザイナーになりたい人
- ・自然と調和した住空間のデザインを身につけ、地球環境との均衡を保ちつつ人々の健康で快適な生活を実現できる建築環境設備エンジニアになりたい人
- ・都市の歴史の変遷や成り立ちを知り、未来社会に向けた持続可能な新しい街づくりを實踐できる都市計画プランナーや都市デザイナーになりたい人

②都市基盤教育プログラム

- ・自然環境との調和や共生など地球的観点にたつてより良い都市や国土の創造に興味がある人
- ・シビルエンジニアとして、社会基盤の整備、維持管理、運用を通して、都市や社会生活を豊かにしたい人
- ・発展途上国の社会基盤整備や地球規模の環境保全を通して、国際的に活躍したい人

③海洋空間のシステムデザイン教育プログラム

- ・世界中を駆けめぐる、環境と調和した新たな船舶・航空機や、海洋構造物の設計エンジニアになりたい人
- ・海洋から大気圏さらに宇宙を活躍の場とする船や航空機、人工衛星の運航を通して人や物資の流れを作り、世界を一つにすることを目指したい人

④地球生態学教育プログラム

身近な自然や、生物多様性、地球温暖化などに興味を持っていて、以下のような進路をめざす人を求めます。

- ・科学者や技術者、社会のリーダーとして地域の自然環境問題の科学的な解決を目指そうとする人
- ・研究者として環境科学や関連する自然科学を発展させたり、高等学校理科教員として自然についての知識を次世代に伝えたいと考えている人

(4) 数物・電子情報系学科の入学者受入方針

数学、物理の基本原則を深く理解し、新しい創造的な科学や技術を創出しようとする気概があつて、理工学の諸分野で国内外を問わず幅広く活躍して豊かな未来を作り出そうという意欲に満ちあふれた人を求めます。また、数学、物理、光や電気・電子、情報について強い関心や高い能力を持つ人を求めます。

①数理科学教育プログラム

- ・現代の数学である数理科学を縦横に活用して社会に有為な人材になりたい人、また、将来、その発展に貢献することで国際的な活躍をしたい人
- ・数学と物理、コンピュータの活用に興味があり、コンピュータグラフィックス、コンピュータシミュレーション、画像処理、数理モデリングなどを用い、世の中の複雑な現象・問題を理解・解決したい人

②物理工学教育プログラム

- ・宇宙、素粒子、様々な物質系などの性質を物理学の手法を用いて探求することに関心のある人
- ・物理学を深く理解したうえで、工学の幅広い分野で常に原理に立ち返つて新しい科学技術を生み出したい人

③電子情報システム教育プログラム

- ・電気・電子・通信・情報工学などに興味があり、これらの分野の研究者・技術者として、社会で役立つ実践力を身につけたい人
- ・高度情報化社会を支える新しい先端技術を開発することを目指す人

④情報工学教育プログラム

- ・情報学・情報工学の基礎から応用までを身につけ、自ら先端的な情報理論・処理方式・システムを創造して社会に貢献する強い意欲をもつた人
- ・人の優れた知能や能力をコンピュータ・機械で実現し、人を支援することで、人を中心とした豊かで安全・安心な未来社会を実現したいと考えている人

【試験科目設定の意図に関するアドミッション・ポリシーは、21 ページを参照してください。】

Ⅱ 入学者選抜の概要

1. 募集人員

学部	学科・課程・コース・ 教育プログラム(EP)		入学 定員	募 集 人 員 (人)									
				一般入試		専門高 校卒業 生入試	アドミッション・ オフィス入試 (AO入試)	推薦入試		帰国 生徒 入試	外国学校 出身者 入試	社会人 入試	
				前期 日程	後期 日程			地域枠	全国枠				
教育人間科学部	学校教育課程	人間形成コース	230	142	—	—	—	12	26	若干名 (前期 日程 内数)	—	—	
		教科教育コース			—						30	—	—
		特別支援教育コース			18						—	—	—
	人間文化課程		150	100	50	—	若干名(10月入学)	—	—	—	—	—	—
小 計			380	260	50	—	30	40	—	—	—	—	
経済学部	経済シ テム学科	経済コース	115	58	37	—	—	—	—	若干名 (前期 日程 内数)	—	—	
		法と経済コース		12	8	—	—	—	—				
	国際経済学科		115	70	45	—	—	—	—	—	—	—	
小 計			230	140	90	—	—	—	—	—	—	—	
経営学部	昼間主 コース	経営学科	75	34	32	—	—	9	若干名 (前期 日程 内数)	—	—		
		会計・情報学科	70	34	27	—	—	9		—	—		
		経営システム科学科	65	30	27	—	—	8		—	—		
		国際経営学科	65	30	27	—	—	8		—	—		
		小 計		275	128	113	—	—		34	—	—	
	夜間主 コース	経営学科	32	12	4	4	—	8	—	—	4		
小 計			32	12	4	4	—	8	—	—	4		
理工学部	機械工学・ 材料系学科	機械工学EP	140	40	60	—	—	—	—	—	—		
		材料工学EP		15	25	—	—	—	—	—			
	化学・生命 系学科	化学EP・化学応用EP	175	55	70	—	—	22	—	—	—		
		バイオEP		—	22	—	—	6	—	—			
	建築都市・ 環境系学科	建築EP	160	30	27	—	7	—	—	—	—		
		都市基盤EP		17	9	—	7	—	—	—			
		海洋空間のシステムデザインEP		16	10	—	7	—	—	—			
		地球生態学EP		15	10	—	若干名	5	—	—			
	数物・電子 情報系学科	数理科学EP	270	20	15	—	—	—	—	—	—		
		物理工学EP		40	50	—	—	—	—	—			
		電子情報システムEP		40	70	—	—	—	—	—			
情報工学EP		15		20	—	—	—	—	—				
小 計			745	303	388	—	21	33	—	—	—		
合 計			1662	843	645	4	51	115	若干名	若干名	4		

備考

- 推薦入試の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合は、次のとおり補充します。
 - 教育人間科学部及び経営学部(夜間主コース)については、前期日程の合格者で補充します。
 - 経営学部(昼間主コース)及び理工学部については、後期日程の合格者で補充します。
- 経営学部(夜間主コース)専門高校卒業生入試の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合は、後期日程の合格者で補充します。
- 経営学部(夜間主コース)社会人入試の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合は、前期日程の合格者で補充します。
- AO入試の入学手続者が、募集人員に満たなかった場合は次のとおり補充します。
 - 教育人間科学部学校教育課程については、前期日程の合格者で補充します。
 - 理工学部については後期日程の合格者で補充します。
 なお、理工学部建築都市・環境系学科地球生態学教育プログラム(EP)の募集人員は後期日程内数とします。
- 教育人間科学部人間文化課程のAO入試は、秋期(10月)入学として実施します。

2. 選抜方法等概要

(1) 一般入試、専門高校卒業生入試

学部	学科・課程・コース・教育プログラム(EP)		日程	個別学力検査等							個別学力検査等の日程	専門高校卒業生入試	備考				
				実技検査等				2段階選抜									
				個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	主として調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行いその合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数				定員に対する倍率	その他		
教育人間科学部	学校教育課程	人間形成コース	前期	○	○	×	×	×	×	×	×	2月25日	×	欠員の補充は、原則として追加合格で行います。また、必要がある場合には欠員補充第2次募集を行います。			
		教科教育コース			×												
	特別支援教育コース	×															
	人間文化課程	×															
学校教育課程	人間形成コース	後期	実施しない							実施しない	×						
	教科教育コース																
	特別支援教育コース																
人間文化課程	×	×	○	×	×	×	×	×	×	3月12日							
経済学部	経済システム学科	経済コース	前期	○	×	×	×	×	○	約7倍	×	2月25日	×				
		法と経済コース															
	国際経済学科																
	経済システム学科	経済コース	後期	○	×	×	×	×	×	○	約12倍	×	3月12日	×			
法と経済コース																	
国際経済学科																	
経営学部	昼間主コース	経営学科	前期	×	×	×	×	×	×	×	×	個別学力検査等は課さない	×				
		会計・情報学科															
		経営システム科学科															
		国際経営学科															
	経営学科	経営学科	後期	○	×	×	×	×	×	○	約8倍	×	3月12日	×			
		会計・情報学科															
		経営システム科学科															
国際経営学科																	
	国際経営学科																
夜間主コース	経営学科	前期	×	×	×	×	×	×	×	×	×	個別学力検査等は課さない	×				
		後期	×	×	×	×	×	×	×	×	×	課さない	○				
理工学部	機械工学・材料系学科	機械工学EP	前期	○	×	×	×	×	×	×	×	2月25日	×				
		材料工学EP															
	化学・生命系学科	化学EP・化学応用EP															
		バイオEP			実施しない							実施しない					
	建築都市・環境系学科	建築EP															
		都市基盤EP															
		海洋空間のシステムデザインEP															
	地球生態学EP																
	数物・電子情報系学科	数理科学EP															
		物理工学EP															
		電子情報システムEP															
	情報工学EP																
	機械工学・材料系学科	機械工学EP			後期	○	×	×	×	×	×	×		×	×	3月12日	×
		材料工学EP															
化学・生命系学科	化学EP・化学応用EP																
	バイオEP																
建築都市・環境系学科	建築EP																
	都市基盤EP																
	海洋空間のシステムデザインEP																
地球生態学EP																	
数物・電子情報系学科	数理科学EP																
	物理工学EP																
	電子情報システムEP																
情報工学EP																	

【注1】 ○印は該当することを示し、×印は該当しないことを示します。

【注2】 専門高校卒業生入試の詳細は24ページを参照してください。

(2) アドミッション・オフィス入試、特別入試

学部	学科・課程・コース・ 教育プログラム(EP)		アドミッション・ オフィス入試 (AO入試)	推薦入試							帰国生徒・社会人等 のための入試			
				入学定員の一部分について、出身学校長の推薦に基づき 学力検査を免除し、調査書を主な資料として判定する							帰国 生徒 入試	外国 学校 出身 者入 試	中国 引揚 者等 子女	社会 人入 試
				個別学力 検査を免 除し、大 学入試セ ンター試 験を課す る	個別学力 検査及び 大学入試 センター 試験を免 除する	実技検査等			募集人員					
実 技 検 査 を 課 す る	面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 す る	地域枠			全国枠								
教育人間科学部	学校教育課程	人間形成コース	×	×	○	×	○	○	地域枠 12	全国枠 10	○	×	×	×
		教科教育コース	○	×	○	×	○	○	—	4				
		教科教育コース(理科の専門領域)	×	×	○	×	○	○	—	4				
		教科教育コース(保健体育の専門領域)	×	×	○	×	○	○	—	4				
		教科教育コース(技術の専門領域)	×	×	○	×	○	○	—	4				
		教科教育コース(家庭科の専門領域)	×	×	○	×	○	○	—	4				
		特別支援教育コース	×	×	○	×	○	○	—	2				
	人間文化課程		● (10月入学)	×							×			
経済学部	経済システム学科	経済コース 法と経済コース	×	×							×	○	×	×
	国際経済学科													
経営学部	昼間主 コース	経営学科	×	○	×	○	○	9	○	×	×	×	○	
		会計・情報学科	×	○	×	○	○	9						
		経営システム科学科	×	○	×	○	○	8						
		国際経営学科	×	○	×	○	○	8						
	夜間主 コース	経営学科	×	○	×	○	○	8	×	×	×	○		
理工学部	機械工学・ 材料系学科	機械工学EP	×	×							×	×	×	×
		材料工学EP												
	化学・生命 系学科	化学EP・化学応用EP	×	○	×	×	○	×	22					
		バイオEP	×	○	×	×	○	×	6					
	建築都市・ 環境系学科	建築EP	○	×	×	×	×	×	—					
		都市基盤EP	○	×	×	×	×	×	—					
		海洋空間のシステムデザインEP	○	×	×	×	×	×	—					
		地球生態学EP	○	○	×	×	○	×	5					
	数物・電子 情報系学科	数理科学EP	×	×										
		物理工学EP												
電子情報システムEP														
情報工学EP														

【注1】 ○印は該当することを示し、×印は該当しないことを示します。なお、●印は10月入学で該当することを示します。

【注2】 アドミッション・オフィス入試の詳細は25-31ページを、推薦入試の詳細は32-36ページを、帰国生徒・外国学校出身者入試の詳細は37-39ページを、社会人入試の詳細は40ページをそれぞれ参照してください。

【注3】 アドミッション・オフィス入試のうち、教育人間科学部人間文化課程は、外国学校出身者を対象として実施します。

Ⅲ 一般入試

1. 入学者選抜の実施方法

(1) 入学者の選抜は、各学部の学科・課程の入学定員を分割し、「前期日程」及び「後期日程」の両試験日程でそれぞれ入学者を募集し、選抜試験を実施します。

ただし、教育人間科学部学校教育課程では後期日程の、理工学部化学・生命系学科バイオ教育プログラムでは前期日程の選抜を実施しません。

(2) 選抜方法は、平成24年度大学入試センター試験の成績と本学が行う個別学力検査・実技検査・面接・調査書を総合して行います。

(本学では大学入試センター試験成績の過年度利用は行いません。必ず平成24年度大学入試センター試験の学部・学科等で指定する教科・科目をすべて受験してください。)

2. 出願資格

入学を志願できる者は、次のいずれかに該当し、かつ平成24年度大学入試センター試験の学部、学科等の指定する教科・科目のすべてを受験した者

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成24年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成24年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成24年3月31日までにこれらに該当する見込みの者
- (4) 本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したものと及び平成24年3月31日までに18歳に達するもの

【参考】

学校教育法施行規則第150条の規定内容

1. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成24年3月修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成24年3月修了見込みの者
3. 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び平成24年3月修了見込みの者
4. 文部科学大臣の指定した者
5. 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成24年3月31日までに合格見込みの者で、平成24年3月31日までに18歳に達するもの
6. 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した人であって、当該者をその後に入学者とする大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
7. 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したものと及び平成24年3月31日までに18歳に達するもの

【個別の入学資格審査により出願する場合の手続について】

前記出願資格のうち、(4)に基づき出願する場合は、本学への出願前に必ず個別の入学資格審査を申請し、認定を受けてください。

この個別の入学資格審査を希望する者は、本学入試課に返信用封筒（長3型、90円切手貼付）同封のうえ、入学資格認定申請書（本学所定様式）を請求してください。

① 審査要件（(1)~(3)いずれにも該当することが必要です。）

- (1) 専修学校、各種学校その他の教育施設（学校教育法第1条に掲げるものを除く。）において3年以上の学習歴があり、おおむね74単位（2,590単位時間）相当以上（平成11年度以前の入学者にあつては80単位（2,800単位時間）相当以上。単位（単位時間）については、高等学校学習指導要領による。）修得している者又は平成24年3月修得見込みの者。
- (2) 前号の単位（単位時間）には、おおむね国語（相当する教科を含む。以下の各教科において同じ。）、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語の5教科の単位（単位時間）を含んでいること。
- (3) 18歳に達した者又は平成24年3月31日までに18歳に達する者

② 申請期間

（第1回申請期間）

郵送受付：平成23年8月1日（月）～8月26日（金）【必着】書留速達に限る

窓口受付：平成23年8月25日（木）～8月26日（金）8：30～17：00

（第2回申請期間）

郵送受付：平成24年1月13日（金）～1月17日（火）【必着】書留速達に限る

窓口受付：平成24年1月16日（月）～1月17日（火）8：30～17：00

（第3回申請期間） 大学入試センター試験追試験受験者のみ対象

窓口受付のみ：平成24年1月23日（月）17時までに本学入試課に申し出ること。

※大学入試センター試験追試験許可書を提示すること。

③ 提出書類

- (1) 入学資格認定申請書（本学所定様式）
- (2) 調査書（各教科・科目の学習記録等が含まれているもの。）又は、最終出身学校等の卒業（見込）証明書及び成績証明書
- (3) 出身学校等のカリキュラム表等、教育課程が確認できる書類
- (4) 返信用封筒（長3型、申請者宛先を明記し、660円分の切手を貼付）

④ 提出先

横浜国立大学学務部入試課

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-1 (TEL045-339-3121)

3. 一般入試実施日程

(1) 募集要項公表（配布）

平成23年11月中旬

(2) 出願期間

前期日程及び後期日程共通

平成24年1月23日（月）～平成24年2月1日（水）

(3) 個別学力検査実施日

前期日程 平成24年2月25日（土）

後期日程 平成24年3月12日（月）

(4) 合格発表日

前期日程 平成24年3月7日（水）

後期日程 平成24年3月21日（水）

4. 併 願

受験生が、「前期日程」の大学・学部から二つ、又は「後期日程」の大学・学部から二つを選んで出願することはできません。

従って、「前期－後期」の併願は認められますが、「前期－前期」、「後期－後期」の併願は認められないので注意してください。

5. 出願に関する各学部別の留意事項

(1) 教育人間科学部

① 志望できる課程・コースは一つに限ります。また、原則として入学後、課程・コースを変更することは認めません。

② 学校教育課程人間形成コース・教科教育コースの前期日程（募集人員142人）は、「総合問題、音楽の実技、美術の実技、体育の実技」の中から一つの試験を選択して受験してください。

合格者の選抜は選択する各試験科目ごとに行います。

試験科目別合格予定者数	総合問題	106人
	音楽の実技	12人
	美術の実技	12人
	体育の実技	12人

③ 学校教育課程人間形成コース・教科教育コースに入学した者については、第1学年の終りまでに、コース・専門領域を決定します。この決定は、入学試験時に選択した受験科目にかかわらず、本人の希望及び入学後の学習状況をもとに行います。ただし、特定のコース・専門領域を多数の者が希望した時には、選考試験を行います。

学校教育課程人間形成コース・教科教育コースの専門領域は、次のとおりです。

人間形成コース	教育基礎、心理発達、日本語教育
教科教育コース	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭科、英語

(2) 経済学部

前期・後期日程とも第1志望学科・コースから第3志望学科・コースまで認めます。

(3) 経営学部

昼間主コースは、前期・後期日程とも第1志望学科から第4志望学科まで認めます。原則として入学後、コース（昼間主・夜間主）、学科を変更することはできません。

(4) 理工学部

① 前期・後期日程とも志望できる学科は一つに限ります。

② 入学後に履修を希望する教育プログラム（EP）は、出願時に選択します。

なお、化学・生命系学科の化学教育プログラム及び化学応用教育プログラムの志望者は、第2学年進級時に本人の希望と科目履修状況に基づき、「化学教育プログラム」又は「化学応用教育プログラム」に所属します。

③ 機械工学・材料系学科、建築都市・環境系学科及び数物・電子情報系学科では、学科内の他の教育プログラムを第2志望とすることができます。ただし、各教育プログラムは、それぞれ教育内容に特徴があるので、第2志望教育プログラムの選択にあたっては十分考慮してください。

④ 入学後の教育プログラムの変更は、学科内の他の教育プログラムに限り、変更を希望することができます。変更を申請できる機会は1度のみで、入学後の成績を考慮して決定します。

6. 2段階選抜について

入学志願者数が募集人員に対する予告倍率を超えた場合には、学部・学科等が指定する大学入試センター試験の成績及び調査書により、第1段階選抜を行う予定です。第1段階選抜を実施した場合は、その合格者についてのみ個別学力検査等を行います。

なお、大学入試センター試験において学部・学科等が指定する教科・科目を受験していない者は、「第1段階選抜の合格者判定」の対象とはしませんので注意してください。（各学部の個別学力検査等は受験できません）

第1段階選抜の方法

経済学部	前期日程・後期日程	① 入学志願者数が募集人員の約7倍(前期日程)及び約1.2倍(後期日程)を超えた場合には、2段階選抜を行う予定です。 ② 第1段階選抜は、大学入試センター試験(5教科7科目又は6教科7科目)の成績及び調査書によって行い、募集人員の約7倍(前期日程)及び約12倍(後期日程)を第1段階選抜合格者とします。
経営学部 昼間主 コース	後期日程	① 入学志願者数が募集人員の約8倍を超えた場合には、2段階選抜を行う予定です。 ② 第1段階選抜は、大学入試センター試験(5教科6科目)の成績及び調査書によって行い、募集人員の約8倍を第1段階選抜合格者とします。

◎ 教育人間科学部前期・後期日程、経営学部(昼間主コース)前期日程、経営学部(夜間主コース)前期・後期日程及び理工学部前期・後期日程は、2段階選抜を行いません。

7. 一般入試に係る入試情報の開示について

横浜国立大学では、入試情報の開示を次のとおり行います。

1. 入試問題の正解・解答例等の情報開示

- (1) 入試問題（面接・実技を除く）の正解・解答例または出題意図（合格発表後に開示します。）
- (2) 合格者の最高点、最低点、平均点（平成24年4月初旬より開示します。）
ただし、合格者が5人未満の場合は開示しません。
注）経済学部については、偏差値の合計を併記します。

2. 入試個人成績の情報開示

(1) 開示内容

- ① 試験成績：一般入試を受験し不合格となった者についてのみ、総合点（大学入試センター試験及び個別学力検査等の合計）を開示します。
注）経済学部については、偏差値の合計で開示します。
- ② 調査書：一般入試を受験し不合格となった者についてのみ、調査書記載事項の平均点及び概評のみ開示します。

(2) 開示対象者

一般入試を受験し不合格になった者を対象とします。

なお、後期日程受験者で、前期日程に合格し3月15日までに入学手続を行った者は、開示対象者とはなりません。

(3) 申込期間

平成24年5月15日(火)～平成24年7月13日(金)（申込時間 9:00～12:00、13:00～17:00）〔土・日曜日、祝日、開学記念日〔平成24年6月1日(金)〕を除く〕

(4) 申込者

受験者本人に限ります。（代理人による申込みは認めません。）

(5) 提出書類

- (ア) 横浜国立大学入試情報開示申請書（本学所定用紙）
- (イ) 返信用封筒（長形3号、郵便番号・住所・氏名を明記し390円切手を貼付したもの。）
- (ウ) 横浜国立大学受験票及び大学入試センター試験受験票

(6) 申込方法

郵送又は窓口にて受付します。詳細は一般入試学生募集要項にて確認してください。

(7) 開示方法

受験者本人へ簡易書留郵便で後日送付します。

8. 入学者選抜の実施教科・科目等（一般入試）

(1) 教育人間科学部

（表は右頁へ続く）

学科・課程等名 募集人員	学力検査 等の区分 ・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		
		教科	科目名等 (注1)		教科等	科目名等	2段階 選抜
学 校 教 育 課 程	人間形成 コース 教科教育 コース (前期142)	前期 2月25日	国 地歴 公民 理 数	国 世B、日B、地理B } から1又は2 } から3 現社、倫・政経 } 物I、化I、生I、地学Iから1又は2 } 数I・数A 数II・数B、工、簿、情報から1 英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目] または [6教科7科目]	その他	総合問題、音楽の実技、 美術の実技、体育の実技 のうち1つを選択する。 (注2)	実 施 し な い
	特別支援 教育コース (前期 18)	前期 2月25日			外	その他	
	学校教育課程では、後期日程の募集はありません。						
人間文化課程 前期 100 後期 50	前期 2月25日	国	国 世B、日B、地理B } から1又は2 } から3 現社、倫・政経 } 物I、化I、生I、地学Iから1又は2 } 数I・数A 数II・数B、工、簿、情報から1 英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目] または [6教科7科目]	その他	総合問題 (注2)		
		外		その他	面接 (注3)		
	後期 3月12日	外	その他	面接 (注3)			

- (注1)** 1. 「地理歴史」及び「公民」から2科目選択する場合は、『「地理歴史」から2科目』又は『「地理歴史」1科目、「公民」1科目』とします。
2. 『「地理歴史」、「公民」及び「理科」から3科目』の取り扱いについては、まず「地理歴史」及び「公民」の第1解答科目の得点と「理科」の第1解答科目の得点を、残りの1科目は「地理歴史」、「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目の得点を合否判定に用います。
3. 「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含みます。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。
4. 「英語」についてはリスニングテストを含みます。（「リスニングテスト」の免除を許可された者を除きます。）

(注2)（前期日程）総合問題の内容は、以下のとおりです。

1. 学校教育課程の総合問題は次の2種類を出題します。
- 総合問題1：主として文系の内容に関して、日本語の文章をはじめ絵・図・表などの読み解き、あるいはそれらに基づいた文章の作成などにより、分析力・理解力・思考力・表現力などの基礎的な学力を評価します。
- 総合問題2：主として理系の内容に関する日本語の文章・図・表などを素材として、分析力・理解力・思考力などの基礎的な学力を評価します。
- （なお、総合問題1・2で、設問によっては、一部に英文を含むこともあります。）
2. 人間文化課程の総合問題は次の2種類を出題します。
- 総合問題1：人間文化課程の特色に応じた内容の日本語の文章・図・表などを素材として、広い視野から分析・総合する能力を評価します。
- 総合問題2：基礎的な学力をもとに、英文の資料を素材として、広い視野から分析・総合する能力を評価します。

(注3)（後期日程）人間文化課程の面接

面接では、受験の動機等のほか、面接当日に前もってテーマを与え、それに関する考えなどを求めることがあります。集団面接（受験者数4～6人、30分程度、面接員2～4名）で実施しますが、受験者数によっては若干の変更があります。

(左頁より続く)

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等 (注4)										備考	
試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	総合問題	実技	面接	配点合計		
センター試験	200	200(100)	200	100(200)	200				900		
個別学力検査等						*400	*400		400		
計	200	200(100)	200	100(200)	200	*400	*400		1300		
個別学力検査等の総合問題は、総合問題1〔200点〕及び総合問題2〔200点〕を出題。											
センター試験	200	200(100)	200	100(200)	200				900		
個別学力検査等						400			400		
計	200	200(100)	200	100(200)	200	400			1300		
個別学力検査等の総合問題は、総合問題1〔200点〕及び総合問題2〔200点〕を出題。											
【アドミッション・ポリシー（試験科目設定の意図）】 教員となるための資質として、広い視野・教育に対する関心・問題解決への強い意志を必要とします。このため、高校時代には読解力や英語力を身につけ、文理双方の幅広い基礎教科を学んでください。 一般入試では、各教科で学習することを基礎とし、それを柔軟に応用できる問題解決能力を確かめるために、総合問題を課します。 また、課程の教育理念に則り、総合問題に代わるものとして、音楽・美術・体育の実技試験も行っています。実技試験では、学校教員として必要となる実技能力を備えているか、評価します。											
センター試験	200	200(100)	200	100(200)	200				900		
個別学力検査等						300			300		
計	200	200(100)	200	100(200)	200	300			1200		
個別学力検査等の総合問題は、総合問題1〔200点〕及び総合問題2〔100点〕を出題。											
センター試験	200	200(100)	200	100(200)	200				900		
個別学力検査等								200	200		
計	200	200(100)	200	100(200)	200			200	1100		
【アドミッション・ポリシー（試験科目設定の意図）】 高等学校では、基礎となる英語、社会、読解力を学ぶだけでなく、芸術文化も含めた幅広い教養を磨いてください。本課程で学ぶために必要とされる学力の確認を目的として、一般入試では、外国語も含めた言語の総合的な能力、社会や文化に関する総合的な基礎知識について、大学入試センター試験に加え、前期日程では総合問題、後期日程では集団面接によって評価します。											

- (注4)**
1. 配点に * 印を付してある教科は選択教科を表します。
 2. 「地理歴史」、「公民」及び「理科」の配点について、理科の受験した科目が2科目採用された場合は（ ）内の配点で計算します。
 3. 大学入試センター試験外国語の英語を受験した場合の配点は、筆記試験200点満点とリスニングテスト50点満点の合計250点満点を以下のとおり200点満点に換算します。
 $(\text{筆記試験 } 200 + \text{リスニングテスト } 50) \times 0.8$

(2) 経済学部

(表は右頁へ続く)

学科・課程等名 募集人員		学力検査 等の区分 ・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			
			教科	科目名等 (注1)	教科等	科目名等 (注2)	2段階 選抜	
経済システム学科	経済 コース (前期58) (後期37)	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、 地理B 倫・政経 数I・数A 数II・数B、工、簿、情報から1 物I、化I、生I、地学Iから1 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕または〔6教科7科目〕	数 外	数I・数II・数A・数B 英I・英II・リーディング・ライティング	約7倍	
		後期 3月12日						数 外
	前期 70 後期 45	法と経済 コース (前期12) (後期8)			前期 2月25日	数 外	数I・数II・数A・数B 英I・英II・リーディング・ライティング	
					後期 3月12日			数 外
国際経済学科 前期 70 後期 45		前期 2月25日	数 外	数I・数II・数A・数B 英I・英II・リーディング・ライティング	約7倍			
		後期 3月12日				数 外	数I・数II・数A・数B 英I・英II・リーディング・ ライティング	約12倍

- (注1)** 1. 「理科」の受験において2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
 2. 「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含みます。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。
 3. 「英語」についてはリスニングテストを含みます。（「リスニングテスト」の免除を許可された者を除きます。）

- (注2)** 個別学力検査で課す数学の出題範囲
 (1) 数I、数II及び数Aについては全項目とします。
 (2) 数Bについては「数列」及び「ベクトル」とします。

(左頁より続く)

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等 (注3)							アドミッション・ポリシー (試験科目設定の意図)
試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	配点合計	
センター試験	200	200	200	100	200	900	高等学校では基本科目を幅広く学んでください。 一般入試では、数理的・論理的分析と国際的コミュニケーション能力を重視します。前期日程では数学と英語を課し、後期日程では数学か英語のいずれかに特に秀でた人を求めます。
個別学力検査等			400		400	800	
大学入試センター試験の合計点と個別学力検査の合計点をそれぞれ偏差値に換算し、1対1の比率で合計する。 大学入試センター試験の偏差値は、個別学力検査受験者全体のなかでのものとする。							高等学校では基本科目を幅広く学んでください。 一般入試では、数理的・論理的分析と国際的コミュニケーション能力を重視します。前期日程では数学と英語を課し、後期日程では数学か英語のいずれかに特に秀でた人を求めます。
センター試験	200	200	200	100	200	900	
個別学力検査等			*800		*800	800	
大学入試センター試験の合計点と個別学力検査の得点をそれぞれ偏差値に換算し、1対1の比率で合計する。 大学入試センター試験の偏差値は、個別学力検査受験者全体のなかでのものとする。							高等学校では基本科目を幅広く学んでください。 一般入試では、数理的・論理的分析と国際的コミュニケーション能力を重視します。前期日程では数学と英語を課し、後期日程では数学か英語のいずれかに特に秀でた人を求めます。
センター試験	200	200	200	100	200	900	
個別学力検査等			400		400	800	
大学入試センター試験の合計点と個別学力検査の合計点をそれぞれ偏差値に換算し、1対1の比率で合計する。 大学入試センター試験の偏差値は、個別学力検査受験者全体のなかでのものとする。							高等学校では基本科目を幅広く学んでください。 一般入試では、数理的・論理的分析と国際的コミュニケーション能力を重視します。前期日程では数学と英語を課し、後期日程では数学か英語のいずれかに特に秀でた人を求めます。
センター試験	200	200	200	100	200	900	
個別学力検査等			*800		*800	800	
大学入試センター試験の合計点と個別学力検査の得点をそれぞれ偏差値に換算し、1対1の比率で合計する。 大学入試センター試験の偏差値は、個別学力検査受験者全体のなかでのものとする。							高等学校では基本科目を幅広く学んでください。 一般入試では、数理的・論理的分析と国際的コミュニケーション能力を重視します。前期日程では数学と英語を課し、後期日程では数学か英語のいずれかに特に秀でた人を求めます。
センター試験	200	200	200	100	200	900	
個別学力検査等			400		400	800	
大学入試センター試験の合計点と個別学力検査の合計点をそれぞれ偏差値に換算し、1対1の比率で合計する。 大学入試センター試験の偏差値は、個別学力検査受験者全体のなかでのものとする。							高等学校では基本科目を幅広く学んでください。 一般入試では、数理的・論理的分析と国際的コミュニケーション能力を重視します。前期日程では数学と英語を課し、後期日程では数学か英語のいずれかに特に秀でた人を求めます。
センター試験	200	200	200	100	200	900	
個別学力検査等			*800		*800	800	
大学入試センター試験の合計点と個別学力検査の得点をそれぞれ偏差値に換算し、1対1の比率で合計する。 大学入試センター試験の偏差値は、個別学力検査受験者全体のなかでのものとする。							高等学校では基本科目を幅広く学んでください。 一般入試では、数理的・論理的分析と国際的コミュニケーション能力を重視します。前期日程では数学と英語を課し、後期日程では数学か英語のいずれかに特に秀でた人を求めます。
センター試験	200	200	200	100	200	900	
個別学力検査等			400		400	800	

- (注3)** 1. 配点に * 印を付してある教科は選択教科を表します。
 2. 大学入試センター試験外国語の英語を受験した場合の配点は、筆記試験 200 点満点とリスニングテスト 50 点満点の合計 250 点満点を以下のとおり 200 点満点に換算します。
 (筆記試験 200+リスニングテスト 50)×0.8

(3) 経営学部 (昼間主コース)

(表は右頁へ続く)

学科・課程等名 募集人員		学力検査 等の区分 ・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			
			教科	科目名等 (注1)	教科等	科目名等 (注2)	2段階 選抜	
昼間 主 コ ー ス	経営学科 前期 34 後期 32	前期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、 地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数I・数A 数II・数B、工、簿、情報から1 理総A、理総B、物I、化I、生I、 地学Iから1 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科6科目〕	個別学力検査等は課さない。			実施 しない
		後期 3月12日			数 外	数I・数II・数A・数B 英I・英II・リーディング・ライティング	約8倍	
	会計・情報 学科 前期 34 後期 27	前期			個別学力検査等は課さない。			実施 しない
		後期 3月12日			数 外	数I・数II・数A・数B 英I・英II・リーディング・ライティング	約8倍	
	経営システム 科学科 前期 30 後期 27	前期			個別学力検査等は課さない。			実施 しない
		後期 3月12日			数 外	数I・数II・数A・数B 英I・英II・リーディング・ライティング	約8倍	
	国際経営学科 前期 30 後期 27	前期			個別学力検査等は課さない。			実施 しない
		後期 3月12日			数 外	数I・数II・数A・数B 英I・英II・リーディング・ライティング	約8倍	

経営学部 (夜間主コース)

(表は右頁へ続く)

学科・課程等名 募集人員		学力検査 等の区分 ・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			
			教科	科目名等 (注1)	教科等	科目名等 (注2)	2段階 選抜	
夜間 主 コ ー ス	経営学科 前期 12 後期 4	前期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、 地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数I・数A 数II・数B、工、簿、情報から1 理総A、理総B、物I、化I、生I、 地学Iから1 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科6科目〕	個別学力検査等は課さない。			実施 しない
		後期			個別学力検査等は課さない。			

(注1)

- 「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
- 「理科」において2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
- 「地理歴史」のA科目を第1解答科目として選択解答できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてA科目を履修した者（高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定で「地理歴史」のA科目を合格している者を含みます。）に限ります。
- 「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含みます。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。
- 「英語」についてはリスニングテストを含みます。（「リスニングテスト」の免除を許可された者を除きます。）

(注2)

- 個別学力検査で課す数学の出題範囲
- 数I、数II及び数Aについては全項目とします。
 - 数Bについては「数列」及び「ベクトル」とします。

(左頁より続く)

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等 (注3)								アドミッション・ポリシー (試験科目設定の意図)
試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	調査書	配点合計	
センター試験	200	100	200	100	200		800	<p>高等学校では、基礎となる数学、英語をはじめとして基本科目をしっかりと学んでください。</p> <p>一般入試では、さまざまな問題に幅広く積極的に取り組めるよう、前期日程では大学入試センター試験の偏りのない得点と高等学校での実績を重視します。後期日程では、論理的思考力と国際コミュニケーション能力を重視して、数学と英語に秀でた人を求めます。</p>
個別学力検査等						100	100	
計	200	100	200	100	200	100	900	
センター試験	100	50	100	50	100		400	
個別学力検査等			200		200		400	
計	100	50	300	50	300		800	
大学入試センター試験と個別学力検査等の成績を1対1の比率に換算する。								
センター試験	200	100	200	100	200		800	
個別学力検査等						100	100	
計	200	100	200	100	200	100	900	
センター試験	100	50	100	50	100		400	
個別学力検査等			200		200		400	
計	100	50	300	50	300		800	
大学入試センター試験と個別学力検査等の成績を1対1の比率に換算する。								
センター試験	200	100	200	100	200		800	
個別学力検査等						100	100	
計	200	100	200	100	200	100	900	
センター試験	100	50	100	50	100		400	
個別学力検査等			200		200		400	
計	100	50	300	50	300		800	
大学入試センター試験と個別学力検査等の成績を1対1の比率に換算する。								
センター試験	200	100	200	100	200		800	
個別学力検査等						100	100	
計	200	100	200	100	200	100	900	
センター試験	100	50	100	50	100		400	
個別学力検査等			200		200		400	
計	100	50	300	50	300		800	
大学入試センター試験と個別学力検査等の成績を1対1の比率に換算する。								

(左頁より続く)

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等 (注3)								アドミッション・ポリシー (試験科目設定の意図)
試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	調査書	配点合計	
センター試験	200	100	200	100	200		800	<p>働きながら経営学を学ぶために、高等学校では、基礎となる数学、英語をはじめとして基本科目をしっかりと学んでください。</p> <p>一般入試では、さまざまな問題に幅広く積極的に取り組めるよう、大学入試センター試験の偏りのない得点を重視します。加えて前期日程では、高等学校での実績も重視します。</p>
個別学力検査等						100	100	
計	200	100	200	100	200	100	900	
センター試験	200	100	400	100	400		1200	
個別学力検査等								
計	200	100	400	100	400		1200	

(注3) 大学入試センター試験外国語の英語を受験した場合の配点は、筆記試験 200 点満点とリスニングテスト 50 点満点の合計 250 点満点を以下のとおり 200 点満点、100 点満点又は 400 点満点に換算します。

- 200 点満点 (筆記試験 200+リスニングテスト 50)×0.8
- 100 点満点 (筆記試験 200+リスニングテスト 50)×0.8×0.5
- 400 点満点 (筆記試験 200+リスニングテスト 50)×0.8×2

(4) 理工学部

(表は右頁へ続く)

学科・課程等名 募集人員	学力検査 等の区分 ・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等 (注1)	教科等	科目名等 (注2)	2段階 選抜
機械工学・材料系 学科 前期 55 後期 85	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数I・数A 数II・数B、工、簿、情報から1 物I 化I、生Iから1 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数	数I・数II・数III・数A・数B・数C	実 施 し な い
	後期 3月12日			数 理 外	数I・数II・数III・数A・数B・数C 物I・物II 化I・化II 英I・英II・リーディング・ライティング	
化学・生命系 学科 前期 55 後期 92	前期 2月25日 化学EP及び 化学応用EP	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数I・数A 数II・数B、工、簿、情報から1 物I、化I、生Iから2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数 理	(化学EP及び化学応用EP) 数I・数II・数III・数A・数B・数C 物I・物II 化I・化II ※バイオEPは前期日程の募集をしません。	
	後期 3月12日 化学EP及び 化学応用EP			数 理 外	(化学EP及び化学応用EP) 数I・数II・数III・数A・数B・数C 物I・物II 化I・化II 英I・英II・リーディング・ライティング	
	後期 3月12日 バイオEP			数 理 外	(バイオEP) 数I・数II・数III・数A・数B・数C 生I・生II 物I・物II } から1 (注3) 化I・化II 英I・英II・リーディング・ライティング	
建築都市・環境系 学科 前期 78 後期 56	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数I・数A 数II・数B、工、簿、情報から1 物I、化I、生I、地学Iから2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数	数I・数II・数III・数A・数B・数C	
	後期 3月12日			数 理 外	数I・数II・数III・数A・数B・数C 物I・物II } から2 (注4) 化I・化II 生I・生II 英I・英II・リーディング・ライティング	
数物・電子情報系 学科 前期 115 後期 155	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数I・数A 数II・数B、工、簿、情報から1 物I 化I、生Iから1 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数	数I・数II・数III・数A・数B・数C	
	後期 3月12日			数 理 外	数I・数II・数III・数A・数B・数C 物I・物II 化I・化II 英I・英II・リーディング・ライティング	

- (注1)** 1. 「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。
 2. 「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者(旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含みます。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。
 3. 「英語」についてはリスニングテストを含みます。(「リスニングテスト」の免除を許可された者を除きます。)

(注2) 個別学力検査の出題範囲

- 「数I」、「数II」、「数III」及び「数A」の出題範囲は、全項目とします。
- 「数B」の出題項目は「数列」及び「ベクトル」、「数C」の出題項目は「行列とその応用」及び「式と曲線」とします。
- 「物II」の出題項目は「力と運動」、「電気と磁気」、「課題研究」及び「物質と原子(ア. 原子、分子の運動)」とします。
- 「化II」については、「生活と物質」及び「生命と物質」のいずれか一方を学習しなかった受験生に対して不利が生じないように配慮します。
- 「生II」については、「生物の分類と進化」及び「生物の集団」のいずれか一方を学習しなかった受験生に対して不利が生じないように配慮します。

(左頁より続く)

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等 (注5)							アドミッション・ポリシー (試験科目設定の意図)
試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	配点合計	
センター試験 個別学力検査等 計	200 200 200	100 100 100	400 600 1000	400 400 400	400 400 400	1500 600 2100	<p>高等学校では、機械工学・材料系学科で重要となる数学、理科をはじめとして、国語、英語、地理歴史・公民などを幅広く、しっかり学んでください。</p> <p>大学入試センター試験科目では、5教科7科目を課し、数学、理科、外国語を中心に高等学校での幅広い学習成果を確認します。</p> <p>一般入試では、前期日程では、理工学を学ぶ上で重要な基礎科目である数学を課すことにより数学に秀でた人を求めます。後期日程では、数学に加えて物理・化学、英語を課します。</p>
センター試験 個別学力検査等 計	200 200 200	100 100 100	200 450 650	200 450 650	200 300 500	900 1200 2100	
センター試験 個別学力検査等 計	200 200 200	100 100 100	400 250 650	400 450 850	400 400 400	1500 700 2200	<p>①化学E P・化学応用E P</p> <p>高等学校では、化学はもちろんのこと、数学や物理などの基本科目をしっかり学んでください。</p> <p>一般入試では、化学をはじめ、数学や物理に秀でた人を求めます。後期日程では、数学、物理・化学に加え英語を課します。</p>
センター試験 個別学力検査等 計	200 200 200	100 100 100	200 450 650	200 450 650	200 300 500	900 1200 2100	
センター試験 個別学力検査等 計	200 200 200	100 100 100	200 450 650	200 450 650	200 300 500	900 1200 2100	<p>②バイオE P</p> <p>高等学校では、バイオサイエンスの学修に必要な生物を中心に、数学、そして物理または化学などの基本科目をしっかり学んでください。</p> <p>一般入試（後期日程）では、生物を中心とした理科、数学及び英語の基礎学力を確認します。なお、理科は幅広い学力を確認するため、生物に加え、物理または化学を課します。</p>
センター試験 個別学力検査等 計	200 200 200	100 100 100	200 450 650	200 450 650	300 300 500	1000 300 1300	
センター試験 個別学力検査等 計	200 200 200	100 100 100	200 450 650	200 450 650	200 300 500	900 1200 2100	<p>高等学校では、理学・工学系で学ぶための基礎科目である数学だけではなく、幅広く基礎科目を学んでください。特に建築E Pを志望する者は、文系、理系の受験科目だけに限定せず、芸術を含めた広範な科目をしっかり学んでください。都市基盤E Pや海洋空間のシステムデザインE Pを志望する者は、土木工学や船舶海洋工学の基礎となる物理をしっかり学んでください。地球生態学E Pを志望する者は、自然への興味や、新しいことに自発的に取り組む積極性を育むとともに、新聞などを読んで社会に対する視野を広げてください。</p> <p>一般入試では、サイエンティフィックな分野の能力を考查します。</p>
センター試験 個別学力検査等 計	200 200 200	100 100 100	200 400 600	200 200 200	200 200 200	900 400 1300	
センター試験 個別学力検査等 計	200 200 200	100 100 100	200 450 650	200 450 650	200 300 500	900 1200 2100	<p>大学入学後の学修の土台となる基礎学力を育成するためには、高等学校では基本的科目を幅広く学んでもらうことが必要です。特に数物・電子情報系の広範な分野の基礎となる数学、物理、化学に関する学力をしっかり身につけておくことが重要です。また国際社会で活躍する研究者、技術者を目指すためには、英語が重要であることはいまでもありません。</p> <p>一般入試の前期日程では、特に数学に秀でた人を求めます。後期日程では、国際性を考慮し、数学、物理・化学に加えて英語を課します。</p>

(注3) 化学・生命系学科バイオE Pの理科は、生物Ⅰ・Ⅱ及び(物理Ⅰ・Ⅱまたは化学Ⅰ・Ⅱから1科目)の2科目を受験します。

(注4) 建築都市・環境系学科の理科は、物理Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ・Ⅱ及び生物Ⅰ・Ⅱの3科目の中から2科目を受験します。

(注5) 大学入試センター試験外国語の英語を受験した場合の配点は、筆記試験200点満点とリスニングテスト50点満点の合計250点満点以下のとおり200点満点、300点満点又は400点満点に換算します。

- 200点満点 (筆記試験200+リスニングテスト50)×0.8
- 300点満点 (筆記試験200+リスニングテスト50)×0.8×1.5
- 400点満点 (筆記試験200+リスニングテスト50)×0.8×2

9. 教育人間科学部実技検査

【学校教育課程人間形成コース、教科教育コース】(前期日程)

音 楽	<p>次の1、2の試験を課す。2については「実技試験の詳細」欄を参照のうえ、選択肢(1)、(2)、(3)の中から一つを選び、受験すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 聴音 2声の書き取り(大譜表、8小節程度) 実技試験 <ol style="list-style-type: none"> ピアノA+声楽B 声楽A+ピアノB ピアノ以外の楽器+ピアノB+声楽B <p>(実技試験の詳細)</p> <p>◆ピアノA 次の曲の中から任意の1曲を選び、暗譜で演奏する(反復は省略とする)。 J. S. Bach : イタリア協奏曲 へ長調 BWV971 第1楽章 J. Haydn : ソナタ ト長調 Hob. XVI/27 第1楽章 W. A. Mozart : ソナタ ニ長調 K. 284 (205b) 第1楽章 L. v. Beethoven : ソナタ へ長調 作品10-2 第1楽章、ソナタ ト長調 作品49-2 第1楽章、 ソナタ 嬰へ長調 作品78 第1楽章 F. Mendelssohn : 無言歌集より イ長調 作品19-3 《狩の歌》 F. Chopin : ワルツ ホ短調 遺作</p> <p>◆ピアノB J. S. Bach : 「インヴェンション2声」の中から任意の1曲を演奏する(視奏も可とする)。</p> <p>◆声楽A 次の曲の中から任意の1曲を選び、原語、暗譜で歌う。()内に指定された調から一つを選ぶこと。 G. Caccini : Amarilli (イ短調、ト短調、へ短調) F. Gasparini : Lasciar d'amarti (ト短調、へ短調、ニ短調) 中田 喜直 : 夏の思い出(ホ長調、変ホ長調、ニ長調) 平井 康三郎 : 甲斐の峡(イ長調、変ト長調)</p> <p>◆声楽B コンコーネ50番 Op. 9 第15番～第20番の中から当日指定される1曲を歌う。 1) 移動ド、固定ド、もしくは母音による視唱とする。 2) 高声・中声・低声用のいずれかを選択すること。</p> <p>◆ピアノ以外の楽器(電子楽器を除く) 5分程度の任意の1曲を演奏する(伴奏は無し、楽器は各自持参すること)。 なお、入学後の器楽指導はピアノが中心となる。</p> <p>※ 当日は筆記用具、上履きを持参すること。</p>
美 術	<p>次の1、2の試験を課す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 鉛筆デッサン(B3画用紙に人物の上半身を鉛筆でデッサンする。2時間30分) * 鉛筆、消し具等を持参すること。 総合的な造形(小学校図画工作や中学校美術の教科書にあるような内容。2時間30分) テーマ: 紙粘土でつくるパンと紙パック容器 * 着色用具一式(アクリル絵の具、パレット、筆、筆洗、雑巾)を持参すること。 <p>※ 昼食を持参すること。</p>
体 育	<p>次の1、2の試験を課す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 次の4種目の実技全てを行う。 <ol style="list-style-type: none"> 器械運動 陸上運動 表現運動 ボール運動 次の①～⑨の種目の中から1種目を選択する。 <ol style="list-style-type: none"> 陸上競技 ダンス 剣道 柔道 バレーボール バスケットボール サッカー テニス(ソフトテニスを含む) 野球(軟式を含む) <p>* 運動着および運動靴(体育館用並びに屋外用)を準備する。 * 陸上競技、サッカー、野球では、スパイクの使用可。 * テニス、野球、柔道、剣道を選択する者は、次に示す用具を各自で準備する。 テニス: ラケット、テニスシューズ 野 球: グローブ、バット(木製に限る) 柔 道: 柔道着 剣 道: 剣道具、竹刀</p> <p>※ 昼食を持参すること。</p>

10. 教科・科目名の表記について

大学入試センター試験の出題教科・科目名は、次のように略しています。

教科	表記	科目	表記
国語	国	国語	国
地理歴史	地歴	世界史A	世A
		世界史B	世B
		日本史A	日A
		日本史B	日B
		地理A	地理A
		地理B	地理B
公民	公民	現代社会	現社
		倫理	倫
		政治・経済	政経
		倫理、政治・経済	倫・政経
数学	数	数学Ⅰ・数学A	数Ⅰ・数A
		数学Ⅱ・数学B	数Ⅱ・数B
		工業数理基礎	工
		簿記・会計	簿
		情報関係基礎	情報
理科	理	理科総合A	理総A
		理科総合B	理総B
		物理Ⅰ	物Ⅰ
		化学Ⅰ	化Ⅰ
		生物Ⅰ	生Ⅰ
		地学Ⅰ	地学Ⅰ
外国語	外	英語	英
		ドイツ語	独
		フランス語	仏
		中国語	中
		韓国語	韓

上記の他、一般入試等の出題教科・科目名は、次のように略しています。

教科	表記	科目	表記
数学	数	数学Ⅲ	数Ⅲ
		数学C	数C
外国語	外	英語Ⅰ	英Ⅰ
		英語Ⅱ	英Ⅱ
理科	理	物理Ⅱ	物Ⅱ
		化学Ⅱ	化Ⅱ
		生物Ⅱ	生Ⅱ

IV 専門高校卒業生入試

(経営学部 (夜間主コース) 専門高校卒業生入試)

実施学部 ・学科名	経営学部 (夜間主コース) 経営学科
募集人員	4人
出願要件	次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者 【基礎資格】 高等学校若しくは中等教育学校の職業に関する学科を卒業した者及び平成24年3月までに卒業見込みの者 【要件】 次の1及び2に該当する者 1. 高等学校若しくは中等教育学校で、簿記又は情報に関する科目を修得した者及び修得見込みの者 2. 平成24年度大学入試センター試験の学科の指定する教科・科目をすべて受験した者
選抜方法	大学入試センター試験の成績と個別学力検査等として実施する面接の成績を総合して行います。 1. 大学入試センター試験で受験を要する科目 (1教科2科目または2教科2科目) (1) 簿記・会計、情報関係基礎から1 (2) 数学I、英語から1 注) (2) について、数学Iと英語の両科目を受験した場合は、いずれか高得点の科目の成績を採用します。また、英語はリスニングテストを含みます。 2. 個別学力検査等 面接 複数の面接員による個人面接で志望動機と企業経営への興味や学問に対する姿勢などを評価します。 3. 配点 (350満点) (1) 簿記・会計、情報関係基礎から1 200点 (2) 数学I、英語から1 100点 ※数学I、英語の両科目を受験した場合は、いずれか高得点の科目の成績を利用する (3) 面接 50点
出願期間	平成24年1月23日(月)～平成24年2月1日(水) 【郵送、必着】
選抜期日	平成24年3月13日(火)
合格発表日	平成24年3月21日(水)
その他	募集要項の発表及び請求・問い合わせ先 この入試に関する募集要項は11月下旬に発表し、配付する予定です。 資料の請求方法等につきましては、46・47ページを参照してください。 問い合わせ先等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-4 横浜国立大学社会科学系学務第二係 (経営学部担当) TEL 045-339-3663, 3664

V アドミッション・オフィス入試（AO入試）

(1) 教育人間科学部

実施学部 ・課程名	教育人間科学部 学校教育課程（教科教育コース）																									
募集人員	30人																									
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成24年3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成24年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則第150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成24年3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したものと及び平成24年3月31日までに18歳に達するもの <p>【要件】 学校教員になろうとする強い意欲を有し、合格した場合は入学することを確約できる者</p>																									
選抜方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選抜 自己推薦書、調査書、課題レポートの評価とあわせて、小論文試験を課して、それらの結果を総合的に判断して第1次選抜合格者を決定します。小論文は、附属学校で撮影した授業風景のビデオに基づいて課題を与え、論述してもらいます。 (自己推薦書、課題レポートの内容は、次ページを参照してください。) 2. 第2次選抜 第1次選抜合格者に対し、提出書類の内容を基に、複数の面接員による集団面接を行います。面接試験では課題レポートの内容を一人ずつ説明してもらい、それを踏まえて、教育の今日的な課題などの質問を行い学校教員としての資質と能力を総合的に評価し、第2次選抜合格者を決定します。 3. 最終合格者決定 第2次選抜合格者に対し、平成24年度大学入試センター試験を課し、大学入試センター試験合計点(900点満点)が570点以上の場合に最終合格者とします。 <p>(1) 大学入試センター試験の教科・科目（〔5教科7科目〕又は〔6教科7科目〕）</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>国</td> <td>地歴（世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B）</td> <td rowspan="2">} から1又は2</td> <td rowspan="3">} から3</td> </tr> <tr> <td>公民（現社, 倫, 政経, 倫・政経）</td> <td>理（理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1又は2）</td> </tr> <tr> <td>数（数I・数A）</td> <td>（数II・数B, 工, 簿, 情報から1）</td> </tr> <tr> <td>外（英, 独, 仏, 中, 韓から1）</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 大学入試センター試験の配点</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>教科名</th> <th>国語</th> <th>地歴・公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>配点合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>200(100)</td> <td>200</td> <td>100(200)</td> <td>200</td> <td>900</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1：平成23年度以前の大学入試センター試験成績は利用しません。必ず平成24年度大学入試センター試験を受験してください。</p> <p>注2：『「地歴」、「公民」及び「理科」から3科目』の取り扱いについては、まず、「地歴」及び「公民」の第1解答科目の得点と「理科」の第1解答科目の得点を、残りの1科目は「地歴」、「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目の得点を合否判定に用います。（表は「地歴」及び「公民」から2科目採用された場合の配点で、「理科」から2科目採用された場合は（ ）内の配点で計算します。）</p> <p>注3：「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者(旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含みます。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。</p> <p>注4：外国語として英語を選択した者は、リスニングテストも受験してください。筆記試験200点満点とリスニングテスト50点満点の合計250点満点を200点満点に換算します。</p>	国	地歴（世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B）	} から1又は2	} から3	公民（現社, 倫, 政経, 倫・政経）	理（理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1又は2）	数（数I・数A）	（数II・数B, 工, 簿, 情報から1）	外（英, 独, 仏, 中, 韓から1）			教科名	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	配点合計	配点	200	200(100)	200	100(200)	200	900
国	地歴（世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B）	} から1又は2	} から3																							
公民（現社, 倫, 政経, 倫・政経）	理（理総A, 理総B, 物I, 化I, 生I, 地学Iから1又は2）																									
数（数I・数A）	（数II・数B, 工, 簿, 情報から1）																									
外（英, 独, 仏, 中, 韓から1）																										
教科名	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	配点合計																				
配点	200	200(100)	200	100(200)	200	900																				
出願期間	平成23年8月22日（月）～平成23年8月26日（金） 【郵送、必着】																									
選抜期日	<p>第1次選抜期日：平成23年 9月10日（土）</p> <p>第2次選抜期日：平成23年10月 1日（土）</p>																									
合格発表日	<p>第1次選抜合格発表日：平成23年 9月16日（金）</p> <p>第2次選抜合格発表日：平成23年10月 7日（金）</p> <p>最終合格発表日：平成24年 2月 3日（金）</p>																									
その他	<p>募集要項の請求・問い合わせ先</p> <p>この入試に関する募集要項等の資料請求方法については、46・47ページを参照してください。</p> <p>問い合わせ等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-2 横浜国立大学 教育人間科学部 入試係 ☎045-339-3261</p>																									

【教育人間科学部学校教育課程（教科教育コース）：AO入試】

自己推薦書、課題レポートの内容	
自己推薦書	<p>本学部所定用紙を用いて、以下の点に留意し、1,000字以内で自己PRを自筆で書いてください。</p> <p>① 学校教育課程教科教育コースのAO入試を希望する理由</p> <p>② 学校教員になることに対する熱意や適性</p> <p>なお、高等学校までの生活の中で小学校の児童または中学校の生徒とふれあう体験的活動等があれば、「自己推薦書 補足資料」用紙にその内容を記述し、それを示す資料があればA4サイズのコピーを添付してください。</p>
課題レポート	<p>本学部所定用紙を用いて、小学校または中学校の教科の中から1つの教科を選び、あなたが学校教員になって児童または生徒に教えてみたいことを、以下の4点を踏まえて、2,000字以内で書いてください。</p> <p>① どの学校種と学年のどのような指導内容を取り上げるのか。</p> <p>② その指導内容を取り上げた理由は何か。</p> <p>③ その指導内容を児童または生徒がどのように受け止めると予想しているか。</p> <p>④ 児童または生徒の受け止め方に対して、どのような対応が考えられるか。</p>

入学者選抜方法は、前ページを参照してください。

(2) 理工学部：AO入試

実施学部・ 学科名	理工学部 建築都市・環境系学科 建築教育プログラム
募集人員	7人
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成24年3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成24年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則第150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成24年3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したものと及び平成24年3月31日までに18歳に達するもの <p>【要件】 次の1及び2に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 合格した場合には入学の確約ができる者 2. 高等学校若しくは中等教育学校等で数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数Cの全て（またはこれらに相当する科目を含む）を履修した者及び履修見込みの者。 <p>なお、履修見込みの場合は、学校長または担当教諭の証明書（本学様式）を添付すること。</p>
選抜方法	<p>【第1次選抜】 書類審査及び実技試験とします。 以下の書類により、志望する教育プログラムへの熱意と適性の評価を行います。また、自己推薦書による適性及び能力を判断するために実技試験（造形に関する思考力・表現力の検査）を課します。 建築教育プログラムホームページの学部入試情報に、過去の出題例を公開していますので、参考にしてください。 (URL http://www.arc-ynu.jp)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己推薦書 本学科の志望する教育プログラムに対する熱意を1,000字程度で自己推薦してください（本学様式）。 図を入れても結構ですが字数に含みません。文字・図はワープロではなく手書きが条件です。 2. 調査書等 志望する教育プログラムへの適性を判断するために使用します。 <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、面接試験（口頭試問による論理的思考力・理解力・表現力の検査）を課します。</p> <p>【最終合格者決定】 書類審査及び実技試験・面接試験の結果を総合的に判断し、最終合格者を決定します。</p> <p>なお、大学入試センター試験は課しません。</p>
出願期間	平成23年10月 3日（月）～平成23年10月11日（火） 【郵送、必着】
選抜期日	第1次選抜： 平成23年10月24日（月） 第2次選抜： 平成23年11月28日（月）
合格発表日	第1次選抜： 平成23年11月 9日（水） 第2次選抜（最終合格者）： 平成23年12月 6日（火）
そ の 他	<p>募集要項の請求・問い合わせ先 この入試に関する募集要項等の資料請求方法については、46・47ページを参照してください。 問い合わせ等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5 横浜国立大学 理工学系大学院等 入試係 TEL045-339-3821, 3822</p>

【理工学部：AO入試】

実施学部・学科名	理工学部 建築都市・環境系学科 都市基盤教育プログラム
募集人員	7人
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成24年3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成24年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則第150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成24年3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したものと及び平成24年3月31日までに18歳に達するもの <p>【要件】 合格した場合には入学の確約ができる者</p>
選抜方法	<p>【第1次選抜】 書類選抜とします。以下の書類により、志望する教育プログラムへの熱意と適性の評価を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己推薦書 本学科の志望する教育プログラムに対する熱意を、以下の点についてそれぞれ指定された字数で記述してください(本学様式)。図を入れても結構ですが字数に含みません。文字・図は手書きが条件です。 (1) 都市基盤教育プログラムを志望する理由(自分の能力や実績、社会や技術に対する自分の考えなどとの関係から記述してください)：400字程度 (2) 都市基盤教育プログラムを卒業した後の自分の姿：200字程度 (3) 自分の特徴(良い点、悪い点)：200字程度 (4) いままで勉強以外で力を入れてきたことや得意なことなど：200字程度 2. 調査書等 志望する教育プログラムへの適性を判断するために使用します。 <p>【第2次選抜】 記述式の評価シートを参考にした口頭試問による学力・適性検査を課します。 評価シートは、口頭試問に先立って記述し、自己プロフィール、数学、物理に関連する基本的な設問に対して回答するものです。 口頭試問では主に、志望動機等に関する質疑、数学・物理およびそれらに関連する総合的な能力の検査、物理的・社会的現象を対象とした課題に関するプレゼンテーションとそれに関する質疑を行います。ここで数学とは、数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B(「数列」及び「ベクトル」)、数C(「行列とその応用」及び「式と曲線」)の全範囲、物理とは、物Ⅰ、物Ⅱの全範囲を含みます。 学力・適性検査の詳細は、第1次選抜の合格通知に同封します。</p> <p>【最終合格者決定】 自己推薦書・調査書等の評価、および第2次選抜時の試験の結果を総合的に判断して、最終合格者を決定します。</p> <p>なお、大学入試センター試験は課しません。</p>
出願期間	平成23年10月 3日(月)～平成23年10月11日(火) 【郵送、必着】
選抜期日	平成23年11月28日(月) 【第2次選抜期日】 第1次選抜の結果は、平成23年11月 9日(水)付けで本人に通知します。
合格発表日	平成23年12月 6日(火)
その他	<p>募集要項の請求・問い合わせ先 この入試に関する募集要項等の資料請求方法については、46・47ページを参照してください。 問い合わせ等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5 横浜国立大学 理工学系大学院等 入試係 TEL045-339-3821, 3822</p>

【理工学部：AO入試】

実施学部・学科名	理工学部 建築都市・環境系学科 海洋空間のシステムデザイン教育プログラム																
募集人員	7人																
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成24年3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成24年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則第150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成24年3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したものと及び平成24年3月31日までに18歳に達するもの <p>【要件】 次の1及び2に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 合格した場合には入学の確約ができる者 2. 平成24年度大学入試センター試験において学科・教育プログラムの指定する教科・科目のすべてを受験する者 																
選抜方法	<p>【第1次選抜】 書類選抜とします。以下の書類により、志望する教育プログラムへの熱意と適性の評価を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己推薦書 本学科の志望する教育プログラムに対する熱意を1,000字程度で自己推薦してください（本学様式）。 図を入れても結構ですが字数に含みません。文字・図はワープロではなく手書きが条件です。 2. 調査書等 志望する教育プログラムへの適性を判断するために使用します。 <p>【第2次選抜】 自己推薦書による適性及び能力を判断するために、面接試験（口頭試問による学力検査（数学・物理およびそれらに関連する総合的な能力の検査））を課します。</p> <p>【最終合格者決定】 第2次選抜合格者に対し、下記の大学入試センター試験の教科・科目を課し、総合的に判断し、最終的な合格者を決定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験の教科・科目〔3教科4科目〕 <table border="0"> <tr> <td>国</td> <td>（国）</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>（数Ⅰ・数A）及び（数Ⅱ・数B、工、簿、情報から1） 「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含みます。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>（英） ※英語については「リスニングテスト」を含みます。</td> </tr> </table> 2. 大学入試センター試験の配点 <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科名</th> <th>国語</th> <th>数学</th> <th>外国語</th> <th>配点合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table> 	国	（国）	数	（数Ⅰ・数A）及び（数Ⅱ・数B、工、簿、情報から1） 「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含みます。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。	外	（英） ※英語については「リスニングテスト」を含みます。	教科名	国語	数学	外国語	配点合計	配点	200	200	200	600
国	（国）																
数	（数Ⅰ・数A）及び（数Ⅱ・数B、工、簿、情報から1） 「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者（旧教育課程でこれらに相当する科目を履修した者及び大学入学資格検定でこれらに相当する科目を合格している者を含みます。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。																
外	（英） ※英語については「リスニングテスト」を含みます。																
教科名	国語	数学	外国語	配点合計													
配点	200	200	200	600													
出願期間	平成23年10月 3日（月）～平成23年10月11日（火） 【郵送、必着】																
選抜期日	平成23年11月28日（月）【第2次選抜期日】 第1次選抜の結果は、平成23年11月 9日（水）付けで本人に通知します。																
合格発表日	1. 第2次選抜合格発表日 平成23年12月 6日（火） 2. 最終合格発表日 平成24年 2月 4日（土）																
その他	<p>募集要項の請求・問い合わせ先 この入試に関する募集要項等の資料請求方法については、46・47ページを参照してください。 問い合わせ等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5 横浜国立大学 理工学系大学院等 入試係 TEL045-339-3821, 3822</p>																

【理工学部：AO入試】

実施学部・ 学科名	理工学部 建築都市・環境系学科 地球生態学教育プログラム
募集人員	若干名
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次の1～4のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成24年3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成24年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則第150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成24年3月31日までにこれらに該当する見込みの者 4. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したものと及び平成24年3月31日までに18歳に達するもの <p>【要件】 合格した場合には入学の確約ができる者</p>
選抜方法	<p>【第1次選抜】 書類選抜とします。以下の書類により、志望する教育プログラムへの熱意と適性の評価を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己推薦書 本学科の志望する教育プログラムに対する熱意を1,000字程度で自己推薦してください（本学様式）。 図を入れても結構ですが字数に含みません。文字・図はワープロではなく手書きが条件です。 2. 調査書等 志望する教育プログラムへの適性を判断するために使用します。 <p>【第2次選抜】 適性及び能力を判断するために、実際の研究材料や資料などを調べ、結果をまとめて発表する実習（自然や環境への興味とセンス、思考力、発想力、表現力の検査）を課します。</p> <p>【最終合格者決定】 自己推薦書・調査書等の評価、および第2次選抜時の試験の結果を総合的に判断して、最終合格者を決定します。</p> <p>なお、大学入試センター試験は課しません。</p>
出願期間	平成23年10月 3日（月）～平成23年10月11日（火） 【郵送、必着】
選抜期日	平成23年11月28日（月）【第2次選抜期日】 第1次選抜の結果は、平成23年11月 9日（水）付けで本人に通知します。
合格発表日	平成23年12月 6日（火）
その他	<p>募集要項の請求・問い合わせ先 この入試に関する募集要項等の資料請求方法については、46・47ページを参照してください。 問い合わせ等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5 横浜国立大学 理工学系大学院等 入試係 TEL045-339-3821, 3822</p>

(3)秋期入学特別入試（平成24年10月入学）

実施学部・学科名	教育人間科学部 人間文化課程
募集人員	若干名
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たし、平成24年（2012年）3月31日までに18歳に達している者</p> <p>【基礎資格】 次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国において学校教育における12年の課程を卒業（修了）した者及び平成24年（2012年）9月までに卒業（修了）見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 2. 外国において次の資格のいずれかを授与された者 <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 <p>【要件】 外国の教育制度に基づく学校に、原則として、最終学年を含め継続して2年以上在学すること ※ 外国に設置された学校であっても日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなしません。</p>
選抜方法	<p>【第1次選考】 志願者が多い場合には、提出された書類を総合的に審査し、書類選考を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 志願理由書 海外で教育を受けることになった理由及びその体験から得たことをなどを含め、本学所定用紙を用いて、800字以内で志願者が自筆で書いてください。 (2) 成績証明書等 (3) その他提出のあった国家試験等の統一試験成績評価証明書、TOEFL、IELTS等のスコア <p>【第2次選考】 第1次選考合格者に対し、面接を行います。 評価判定は、成績証明書等出願書類及び面接評価を総合的に判断し、合格者を決定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 面接シート作成 面接シートは、面接を行う際に必要な事項について、あらかじめ記述するものです。 (2) 面接 面接シート内容をもとに行います。 <p>なお、大学入試センター試験は課しません。</p>
出願期間	平成24年8月上旬 【郵送、必着】
選抜期日	平成24年9月上旬 【第2次選考期日】 第1次選考の結果は、平成24年8月下旬に本人に通知します。
合格発表日	平成24年9月中旬
その他	<p>この入試に関する募集要項は、平成24年6月頃に発表します。</p> <p>問い合わせ等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-1 横浜国立大学 教育人間科学部 入試係 TEL045-339-3261 学務部入試課 TEL045-339-3121</p>

VI 特別入試

1. 推薦入試 (国公立大学の推薦入試へ出願することができるのは、1つの大学・学部のみです。)

(1) 教育人間科学部 推薦入試

実施学部・課程名	教育人間科学部 学校教育課程		
募集人員	40人 (内訳)		
	地域 枠	人間形成コース・教科教育コース 12人	全国 枠
			人間形成コース・教科教育コース 10人
			理科の専門領域 4人 保健体育の専門領域 4人 技術の専門領域 4人 家庭科の専門領域 4人
地域枠合計 12人		特別支援教育コース 2人	全国枠合計 28人
<p>(注1)併願(注3参照)の有無に関わらず、1校4名まで推薦できます。</p> <p>(注2)全国枠で出願できるコース・専門領域は1つに限ります。</p> <p>(注3)神奈川県在住者(出願要件1を参照)は、全国枠と地域枠の併願が可能です。ただし、全国枠の特別支援教育コースと地域枠の併願はできません。併願する場合は、それぞれについての入学検定料が必要となります。</p> <p>(注4)全国枠の専門領域(理科、保健体育、技術、家庭科)及び特別支援教育コースの合格者は、入学後、コースや専門領域を変更できません。これ以外の合格者は第1学年の終わりまでに専門領域を決定します。この決定は、本人の希望及び入学後の学習状況をもとに行います。ただし、特定のコース・専門領域を多数の者が希望した時には選考試験を行います。</p> <p>(注5)全国枠と地域枠を併願し、地域枠で合格した場合、全国枠については合否対象から除外します。ただし入学後は、全国枠で出願した専門領域に進むものとします。</p>			
出願要件	次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者		
	<p>【基礎資格】</p> <p>出身学校長の推薦を受けた者で、次の1～3のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 平成23年4月から平成24年3月までに高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 平成23年4月から平成24年3月までに高等専門学校3年次修了見込みの者 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成23年4月から平成24年3月までに修了又は修了見込みの者 <p>【要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 地域枠 <p>次の(1)～(5)の要件を満たし、かつ、志願者及びその父母又はそれに準ずる者が出願時に神奈川県に在住する者</p> <p>(注)世帯主の氏名及び続柄と志願者の記載されている住民票を必ず添付してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 児童・生徒の育成に熱意を持ち、小・中・特別支援学校等の教員になる強い意欲を持つ者 調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者 出身学校長が、次のア及びイについて人物及び能力等に責任を持って推薦できる者 <ol style="list-style-type: none"> 学習成績が優秀で教員となる強い意欲及びそれにふさわしい資質を持つ者 児童・生徒の育成に熱意を持ってあたれる者として認めることができる者 合格した場合には、本学に入学することを確約できる者 神奈川県・横浜市・川崎市の学校教育に関して、強い興味・関心を持つ者 全国枠 <ol style="list-style-type: none"> 人間形成コース・教科教育コース及び特別支援教育コース <p>上記(1)～(4)の要件を満たしている者</p> 教科教育コース(理科、保健体育、技術、家庭科の専門領域) <p>上記(1)～(4)の要件を満たし、かつ、出身学校長が次のいずれかについて人物及び能力等に責任を持って推薦できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 理科、家庭科の志願者にあつては、学校教育における志願するいずれかの専門領域に関わる内容に関して強い興味・関心を有すると認めることができる者 保健体育の志願者にあつては、学校教育における保健体育に関わる内容に関して強い興味・関心を有すると認めることができ、かつ、都道府県以上の大会・競技会で8位以内の成績を収めた者。この場合、それに該当することを証明する資料のコピーを添付すること。団体競技の場合は、志願者が競技に参加したことを証明できるものも添付すること。 技術の志願者にあつては、中学校若しくは中等教育学校前期課程の技術科の内容に関して強い興味・関心を有すると認めることができる者 		
選抜方法	<ol style="list-style-type: none"> 入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文及び面接による試験、推薦書、調査書、志願理由書、自己推薦書を総合的に評価して行います。 小論文及び面接の内容については、41ページを参照してください。 		
出願期間	平成23年11月1日(火)～平成23年11月7日(月) 【郵送、必着】		
選抜期日	地域枠：平成23年11月19日(土) 全国枠：平成23年11月20日(日)		
合格発表日	平成23年12月8日(木)		
その他	<p>募集要項の請求・問い合わせ先</p> <p>この入試に関する募集要項等の資料請求方法については、46・47ページを参照してください。</p> <p>問い合わせ等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-2 横浜国立大学 教育人間科学部 入試係 ☎045-339-3261</p>		

(2) 経営学部（昼間主コース） 推薦入試

<p>実施学部 ・学科名</p>	<p>経営学部 経営学部（昼間主コース） 経営学科 会計・情報学科 経営システム科学科 国際経営学科</p>
<p>募集人員</p>	<p>経営学科 9人 会計・情報学科 9人 経営システム科学科 8人 国際経営学科 8人</p>
<p>出願要件</p>	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者 【基礎資格】 出身学校長の推薦を受けた者で、平成23年4月から平成24年3月までに高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 【要件】 次の1及び2に該当する者 1. 本学部において、大学教育を修めたい希望と学業に対する熱意を持ち、出身学校における学習成績概評がA段階（調査書の全体の評定平均値が4.3以上）に属し、出身学校長が責任をもって、人物、学力ともに優れていると認め推薦できる者 2. 合格した場合には入学の確約ができる者 (注) 推薦人員について 昼間主コース、夜間主コース併せて1校2名以内まで推薦できます。 ただし、教育課程が違う場合（全日制、定時制等）は、同一の学校（学校長）でも別の学校とみなします。</p>
<p>選抜方法</p>	<p>入学者の選抜は、小論文、面接による試験と志望理由書、出身学校長が作成した調査書及び推薦書を総合して行います。なお、大学入試センター試験を免除します。 小論文及び面接の内容については、41ページを参照してください。</p>
<p>出願期間</p>	<p>平成23年11月 1日（火）～ 平成23年11月 8日（火） 【郵送、必着】</p>
<p>選抜期日</p>	<p>平成23年11月28日（月）</p>
<p>合格発表日</p>	<p>平成23年12月15日（木）</p>
<p>その他</p>	<p>募集要項の請求・問い合わせ先 この入試に関する募集要項等の資料請求方法については、46・47ページを参照してください。 問い合わせ等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-4 横浜国立大学 社会科学系 学務第二係（経営学部担当） TEL 045-339-3663, 3664</p>

(3) 経営学部（夜間主コース） 推薦入試

実施学部 ・ 学科名	経営学部（夜間主コース） 経営学科
募集人員	経営学科 8人
出願要件	次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者 【基礎資格】 高等学校若しくは中等教育学校長の推薦を受けた者で、次の1または2に該当するもの 1. 平成23年4月から平成24年3月までに高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者 2. 平成22年3月以降に高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者 【要件】 次の1または2に該当し、かつ、3に該当する者 1. 「基礎資格1.」に該当する者 勤労学生として、大学教育を修めたい希望と学業に対する熱意を持ち、出身学校における学習成績概評がA段階（調査書の全体の評定平均値が4.3以上）に属し、出身学校長が責任をもって、人物、学力ともに優れていると認め推薦できる者 かつ、次の①～③のいずれかに該当する者 ①現在就職しており入学後も就業する意思のある者 ②就職が内定している者 ③就職の意思のある者 2. 「基礎資格2.」に該当する者 現在就職している者で、かつ在学中の学習成績概評がA段階（調査書の全体の評定平均値が4.3以上）に属し、出身学校長が責任をもって、人物、学力ともに優れていると認め推薦できる者 3. 合格した場合には入学の確約ができる者 (注) 推薦人員について 昼間主コース、夜間主コース併せて1校2名以内まで推薦できます。 ただし、教育課程が違う場合（全日制、定時制等）は、同一の学校（学校長）でも別の学校とみなします。
選抜方法	入学者の選抜は、小論文、面接による試験と志望理由書、出身学校長が作成した調査書及び推薦書を総合して行います。なお、大学入試センター試験を免除します。 小論文及び面接の内容については、41ページを参照してください。
出願期間	平成23年11月 1日（火）～ 平成23年11月 8日（火） 【郵送、必着】
選抜期日	平成23年11月28日（月）
合格発表日	平成23年12月15日（木）
その他	募集要項の請求・問い合わせ先 この入試に関する募集要項等の資料請求方法については、46・47ページを参照してください。 問い合わせ等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-4 横浜国立大学 社会科学系 学務第二係（経営学部担当） TEL 045-339-3663, 3664

(4) 理工学部 推薦入試

実施学 部 ・ 学 科 名	理工学部 化学・生命系学科														
募集人員	化学教育プログラム・化学応用教育プログラム 22人 バイオ教育プログラム 6人														
出願要件	次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者 【基礎資格】 出身学校長の推薦を受けた者で、平成23年4月から平成24年3月までに高等学校若しくは中等教育学校を卒業または卒業見込みの者で、かつ、平成24年度大学入試センター試験において学科の指定する教科・科目のすべてを受験した者 【要件】 次の1から4のすべてに該当する者 1. 出身学校長が人物、能力等について責任をもって推薦できる者 2. 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者 3. 高等学校若しくは中等教育学校で理科を2科目以上履修した者 4. 合格した場合には入学の確約ができる者														
選抜方法	<p>入学者の選抜は、大学入試センター試験の成績・推薦書・調査書及び面接によって行います。面接の内容については、41ページを参照してください。</p> <p>1. 大学入試センター試験の教科・科目〔5教科7科目〕</p> <p>国 地歴(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B) } から1 公民(現社、倫、政経、倫・政経) } 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工、簿、情から1) 理(物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰから2) 外(英、独、仏、中、韓から1)</p> <p>(注) 1. 「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。 2. 「地歴」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。 3. 「英語」についてはリスニングテストを含みます。</p> <p>2. 大学入試センター試験の配点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科名</th> <th>国語</th> <th>地歴又は公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>配点合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>100</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>900</td> </tr> </tbody> </table>	教科名	国語	地歴又は公民	数学	理科	外国語	配点合計	配点	200	100	200	200	200	900
教科名	国語	地歴又は公民	数学	理科	外国語	配点合計									
配点	200	100	200	200	200	900									
出願期間	平成24年1月19日(木)～平成24年1月25日(水) 【郵送、必着】														
選抜期日	平成24年2月2日(木)														
合格発表日	平成24年2月4日(土)														
その他	<p>募集要項の請求・問い合わせ先 この入試に関する募集要項等の資料請求方法については、46・47ページを参照してください。 問い合わせ等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5 横浜国立大学 理工学系大学院等 入試係 TEL 045-339-3821, 3822</p>														

理工学部 推薦入試

実施学部 ・学科名	理工学部 建築都市・環境系学科 地球生態学教育プログラム																														
募集人員	5人																														
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 出身学校長の推薦を受けた者で、平成23年4月から平成24年3月までに高等学校若しくは中等教育学校を卒業または卒業見込みの者で、かつ、平成24年度大学入試センター試験において学科・教育プログラムの指定する教科・科目のすべてを受験した者</p> <p>【要件】 次の1から4のすべてに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 出身学校長が人物、能力等について責任をもって推薦できる者 2. 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者 3. 高等学校若しくは中等教育学校で理科を2科目以上履修した者 4. 合格した場合には入学の確約ができる者 																														
選抜方法	<p>入学者の選抜は、大学入試センター試験の成績・推薦書・調査書及び面接によって行います。面接の内容については、41ページを参照してください。</p> <p>1. 大学入試センター試験の教科・科目〔5教科7科目〕</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">国</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">から1</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">地歴(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">公民(現社、倫、政経、倫・政経)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工、簿、情から1)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">理(物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから2)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">外(英、独、仏、中、韓から1)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。 2. 「地歴」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。 3. 「英語」についてはリスニングテストを含みます。</p> <p>2. 大学入試センター試験の配点</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>教科名</th> <th>国語</th> <th>地歴又は公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>配点合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>100</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>900</td> </tr> </tbody> </table>	国	}	から1	地歴(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B)	公民(現社、倫、政経、倫・政経)			数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工、簿、情から1)			理(物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから2)			外(英、独、仏、中、韓から1)			教科名	国語	地歴又は公民	数学	理科	外国語	配点合計	配点	200	100	200	200	200	900
国	}	から1																													
地歴(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B)																															
公民(現社、倫、政経、倫・政経)																															
数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工、簿、情から1)																															
理(物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから2)																															
外(英、独、仏、中、韓から1)																															
教科名	国語	地歴又は公民	数学	理科	外国語	配点合計																									
配点	200	100	200	200	200	900																									
出願期間	平成24年1月19日(木)～平成24年1月25日(水) 【郵送、必着】																														
選抜期日	平成24年2月2日(木)																														
合格発表日	平成24年2月4日(土)																														
その他	<p>募集要項の請求・問い合わせ先 この入試に関する募集要項等の資料請求方法については、46・47ページを参照してください。</p> <p>問い合わせ等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5 横浜国立大学 理工学系大学院等 入試係 TEL 045-339-3821, 3822</p>																														

2. 帰国生徒入試、外国学校出身者入試

(1) 教育人間科学部帰国生徒入試

実施学部 ・課程名	教育人間科学部 学校教育課程
募集人員	若干名 ※ 学校教育課程の志願者は、「人間形成コース・教科教育コース」又は「特別支援教育コース」のどちらか一方を選択することになります。 「人間形成コース・教科教育コース」に入学した者については、第1学年の終りまでにコース及び専門領域を決定します。
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等やむを得ない事情により外国の学校教育を受けた者で、次の基礎資格を有し、かつ、基礎資格に対応する要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国において学校教育における12年の課程を平成22年(2010年)4月1日から、平成24年(2012年)3月31日までに卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者 2. 外国の教育制度に基づいて外国に設置された学校から、引き続き日本の高等学校の第3学年若しくは中等教育学校の第6学年に編入学した者で、平成23年(2011年)4月から、平成24年(2012年)3月までに卒業又は卒業見込みの者 3. 外国において次の資格のいずれかを平成22年(2010年)又は平成23年(2011年)に授与された者で、平成24年(2012年)3月31日までに18歳に達する者 <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 <p>【要件】 基礎資格に対応する次の要件を満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「基礎資格1.」により出願する場合は、外国の教育制度に基づく高等学校に最終学年を含めて学校暦2年以上継続して学校教育を受けていること 2. 「基礎資格2.」により出願する場合は、次のいずれかに該当する者 <ol style="list-style-type: none"> (1) 外国の教育制度に基づく中学校ないし高等学校に通算3年以上在籍した者 (2) 外国の教育制度に基づく高等学校に学校暦2年以上継続して在籍した者 <p>※外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなしません</p> <p>(注1) 上記の基礎資格及び要件を備えた者でも、本学部帰国生徒入試への受験機会は1回とし、過去に受験した者の再受験は認めません。</p> <p>(注2) 本学他学部の帰国生徒入試(外国学校出身者入試を含む。)との併願は認めません。</p>
選抜方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文及び面接による試験、学業成績証明書、志願理由書及び自己推薦書を総合して行います。 2. 小論文及び面接の内容については、41ページを参照してください。
出願期間	平成23年(2011年)11月1日(火)～平成23年(2011年)11月7日(月) 【郵送、必着】
選抜期日	平成23年(2011年)11月19日(土)
合格発表日	平成23年(2011年)12月8日(木)
その他	<p>募集要項の発表及び請求・問い合わせ先 この入試に関する募集要項等の資料請求方法については、46・47ページを参照してください。 なお、入学志願者が外国にいる場合は、必ず国内の連絡者を通じて請求してください。</p> <p>問い合わせ先等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-2 横浜国立大学 教育人間科学部 入試係 Tel 045-339-3261</p>

(2) 経済学部 外国学校出身者入試

実施学部 ・学科名	<p style="text-align: center;">経済学部</p> <p style="text-align: center;">経済システム学科 ┌ 経済コース └ 法と経済コース</p> <p style="text-align: center;">国際経済学科</p>
募集人員	若干名
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、次の基礎資格を有し、かつ、基礎資格に対応する要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】</p> <p>外国の学校教育を受けた者で、次のいずれかに該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国において学校教育における12年の課程を平成22年(2010年)4月1日から、平成24年(2012年)3月31日までに卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者 2. 外国において次の資格のいずれかを平成22年(2010年)又は平成23年(2011年)に授与された者で、平成24年(2012年)3月31日までに18歳に達する者 <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 <p>【要件】</p> <p>「基礎資格1.」により出願する場合は、次の1及び2に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国の教育制度に基づく高等学校に最終学年を含めて学校暦2年以上継続して学校教育を受けていること <p>なお、外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなしません</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 中等教育修了時に課される国家試験等の統一試験又はこれに準ずる試験を受験できる国の学校を修了あるいは修了見込みの者は、その試験を受験していること(当該試験が大学入学資格試験あるいは中等教育修了試験である場合には、その試験に合格していなければなりません。) <p>「国家試験等の統一試験又はこれに準ずる試験」についての詳細は次のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① アメリカ合衆国の教育制度によるもの SAT (Scholastic Assessment Test) Reasoning Test (旧SAT I) 及び TOEFL (Test of English as a Foreign Language) を受験している者 ② イギリスの教育制度によるもの GCE (General Certificate of Education) のAdvancedレベルを2科目以上合格している者 ③ それ以外の国の教育制度によるもの その国に統一試験が存在する場合には、その統一試験を受験している者 その国に統一試験が存在しないか、出願期間内に統一試験の結果を提出できない場合には、①又は②を受験すること。 <p>(注) 本学他学部の帰国生徒入試との併願は認めません。</p>
選抜方法	<p>入学者の選抜は、第1次選抜、第2次選抜の2段階で行います。</p> <p>第1次選抜： 出願書類(統一試験等成績評価証明書、出身学校成績証明書)により選抜を行います。</p> <p>第2次選抜： 第1次選抜合格者に対し、小論文及び面接を課して選抜を行います。 小論文及び面接の内容については、41ページを参照してください。</p>
出願期間	平成23年(2011年)9月22日(木)～平成23年(2011年)9月29日(木) 【郵送、必着】
選抜期日	平成23年(2011年)11月14日(月) 出願書類による第1次選抜の結果は、平成23年(2011年)11月4日(金)付けで本人に通知します。
合格発表日	平成23年(2011年)12月9日(金)
その他	<p>募集要項の請求・問い合わせ先 この入試に関する募集要項等の資料請求方法については、46・47ページを参照してください。 なお、入学志願者が外国にいる場合は、必ず国内の連絡者を通じて請求してください。</p> <p>問い合わせ先等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-3 横浜国立大学 社会科学系 学務第一係(経済学部担当) TEL 045-339-3508, 3509</p>

(3) 経営学部（昼間主コース）帰国生徒入試

実施学部 ・学科名	経営学部 経営学部（昼間主コース） 経営学科 会計・情報学科 経営システム科学科 国際経営学科
募集人員	若干名
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等やむを得ない事情により外国の学校教育を受けた者で、次の基礎資格を有し、かつ、基礎資格に対応する要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国において学校教育における12年の課程を平成22年(2010年)4月1日から、平成24年(2012年)3月31日までに卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者 2. 外国の教育制度に基づいて外国に設置された学校から、引き続き日本の高等学校の第3学年若しくは中等教育学校の第6学年に編入学した者で、平成23年(2011年)4月から、平成24年(2012年)3月までに卒業又は卒業見込みの者 3. 外国において次の資格のいずれかを平成22年(2010年)又は平成23年(2011年)に授与された者で、平成24年(2012年)3月31日までに18歳に達する者 <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 <p>【要件】 基礎資格に対応する次の要件を満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「基礎資格1.」により出願する場合は、外国の教育制度に基づく高等学校に最終学年を含めて学校暦2年以上継続して学校教育を受けていること 2. 「基礎資格2.」により出願する場合は、外国の教育制度に基づく高等学校に学校暦2年以上継続して在籍した者 3. 「基礎資格3.」により出願する場合は、外国の教育制度に基づく学校において2年以上継続して学校教育を受けた者で、帰国後2年未満であること <p>※外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなしません</p> <p>(注1) 上記の基礎資格及び要件を備えた者でも、本学部帰国生徒入試への受験機会は1回とし、過去に受験した者の再受験は認めません。</p> <p>(注2) 本学他学部の帰国生徒入試(外国学校出身者入試を含む。)との併願は認めません。</p>
選抜方法	<p>入学者の選抜は、小論文及び面接による試験と志望理由書・推薦書・成績証明書を総合して行います。</p> <p>小論文及び面接の内容については、41ページを参照してください。</p>
出願期間	平成23年(2011年)11月1日(火)～平成23年(2011年)11月8日(火)【郵送、必着】
選抜期日	平成23年(2011年)11月28日(月)
合格発表日	平成23年(2011年)12月15日(木)
その他	<p>募集要項の発表及び請求・問い合わせ先 この入試に関する募集要項等の資料請求方法については、46・47ページを参照してください。 なお、入学志願者が外国にいる場合は、必ず国内の連絡者を通じて請求してください。</p> <p>問い合わせ先等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-4 横浜国立大学 社会科学系 学務第二係（経営学部担当）TEL 045-339-3663, 3664</p>

3. 社会人入試

経営学部（夜間主コース） 社会人入試

実施学部 ・学科名	経営学部（夜間主コース） 経営学科
募集人員	4人
出願要件	<p>次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者</p> <p>【基礎資格】 大学入学資格を有している者（高等学校若しくは中等教育学校卒業見込みの者は除く。）</p> <p>【要件】 次の1から3のすべてに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成24年3月31日現在で、年齢が20歳に達し、現に就職し、入学後も就業を続ける意思がある者 2. 平成21年11月以降に実施されたTOEIC又はTOEFLを受験した者で、次の①～③のいずれかに該当する者 <ol style="list-style-type: none"> ①TOEICの得点が420点以上 ②TOEFL（ペーパーテスト）の得点が443点以上 ③TOEFL（インターネットテスト）の得点が43点以上 3. 合格した場合は入学の確約のできる者
選抜方法	<p>入学者の選抜は、小論文、面接、出身学校の調査書、志願調書（在職証明書等）及び志願理由書を総合して行います。なお、大学入試センター試験を免除します。</p> <p>小論文及び面接の内容については、41ページを参照してください。</p>
出願期間	平成23年11月 1日（火）～平成23年11月 8日（火） 【郵送、必着】
選抜期日	平成23年11月28日（月）
合格発表日	平成23年12月15日（木）
その他	<p>募集要項の発表及び請求・問い合わせ先 この入試に関する募集要項は9月上旬に発表し、配付する予定です。 資料の請求方法等につきましては、46・47ページを参照してください。</p> <p>問い合わせ先等連絡先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-4 横浜国立大学社会科学系 学務第二係（経営学部担当）TEL 045-339-3663, 3664</p>

4. 特別入試における小論文及び面接の内容

入試区分	実施学部	小論文	面接	
推薦入試	教育人間科学部	主として教育や人間に関する日本語の文章や資料を素材として、理解力、思考力、表現力を評価します。	<p>教員になるための意欲と資質をみるため、提出書類の内容を基に、複数の面接員による個人面接を行います。なお、問題提起、問題把握、問題解決の能力をみるために、学校教育に関する資料や課題を与える場合もあります。</p> <p>家庭科の専門領域の受験者には「ホームプロジェクト等の実践」に関する質問を追加して行います。</p>	
	経営学部 昼間主コース	経営・経済を中心とした社会科学に関するテーマ（日本語）についての理解度・思考力及び表現力を評価します。	複数の面接員による個人面接で志望動機と企業経営への興味や学問に対する姿勢などを評価します。	
	経営学部 夜間主コース	経営・経済を中心とした社会科学に関するテーマ（日本語）についての理解度・思考力及び表現力を評価します。	複数の面接員による個人面接で志望動機と企業経営への興味や学問に対する姿勢などを評価します。	
	理工学部	化学・生命系学科 化学EP・化学応用EP	/	複数の面接員による個人面接で、もの作りや自然現象に関する興味、数学・理科および英語に関する基礎知識、健全な大学生活を送る上での適性などを評価します。
		化学・生命系学科 バイオEP		複数の面接員による個人面接で、自然や生命現象に関する興味、数学・理科および英語に関する基礎知識、健全な大学生活を送る上での適性などを評価します。
		建築都市・環境系学科 地球生態学EP		複数の面接員による個人面接で、自然や環境に関する興味、積極的に取り組む姿勢、健全な大学生活を送る上での適性などを評価します。
帰国生徒・外国学校出身者	教育人間科学部	主として教育や人間に関する日本語の文章や資料を素材として、理解力、思考力、表現力を評価します。	<p>教員になるための意欲と資質をみるため、提出書類の内容を基に、複数の面接員による個人面接を行います。なお、問題提起、問題把握、問題解決の能力をみるために、学校教育に関する資料や課題を与える場合もあります。</p>	
	経済学部	社会科学に関するテーマについての基本的な理解、見解の独創性・論理性、論文の構成力・表現力等をもって評価します。	<p>複数の面接員による個人面接で、外国学校で学んだことや海外体験、そこでの勉強の達成度をどのように自己評価するか、大学で何を学びたいのか、その対象に対する基礎知識と問題解決能力などを評価します。</p> <p>統一試験等成績評価証明書及び出身学校成績証明書の評価も含まれます。</p>	
	経営学部 昼間主コース	経営・経済を中心とした社会科学に関するテーマ（日本語）についての理解度・思考力及び表現力を評価します。	複数の面接員による個人面接で志望動機と企業経営への興味や学問に対する姿勢などを評価します。	
社会人	経営学部 夜間主コース	経営・経済を中心とした社会科学に関するテーマ（日本語）についての理解度・思考力及び表現力を評価します。	複数の面接員による個人面接で志望動機と企業経営への興味や学問に対する姿勢などを評価します。	

VII 私費外国人留学生の入学者選抜方法等

私費外国人留学生の入学者選抜は、次により行います。

なお、詳細については、各学部別に作成され11月下旬頃発表予定の「平成24年度（2012年度）私費外国人留学生募集要項」を参照してください。

（募集要項等の請求方法については、46・47ページを参照してください。）

1. 募集人員

学部名	募集人員
教育人間科学部	若干名
経済学部	若干名
経営学部（昼間主コース）	若干名
理工学部	若干名

2. 出願要件

日本国籍を有しない者で、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たすもの

【基礎資格】

次のいずれかに該当する者

1. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成24年(2012年)3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
2. 文部科学大臣の指定した者（国際バカロレア資格、アビトゥア資格(ドイツ)、バカロレア資格(フランス)のいずれかを有する者で平成24年(2012年)3月31日までに18歳に達するもの）

【要件】

次の1及び2に該当し、かつ、経済学部、経営学部及び理工学部志願者にあつては、3にも該当する者

1. 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者
2. 平成23年(2011年)6月実施又は平成23年(2011年)11月実施の日本留学試験を受験し、かつ各学部で指定する以下の要件（別表）を満たしている者
3. 各学部（教育人間科学部を除く）が指定するTOEFL又はTOEICを受験し、かつ各学部で指定する英語科目への対応等の要件（別表）を満たしている者

注1 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校若しくは中等教育学校又は日本国内に設置されたその他の教育施設を卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この項の選抜に該当しないので注意してください。ただし、基礎資格2. に該当する者は出願できます。

注2 在留資格「留学」を取得するにあたっては、留学生生活を維持できる経済的基盤を有している必要があります。

別表 日本留学試験等の受験を要する科目等

◎→必修

○→選択

学部・学科等	受験を要する教科・科目等	日本留学試験										英語科目への対応等	
		出題言語の指定		日本語	理科			総合科目	数学				必要要件
		英語	日本語		物理	化学	生物		コース1	コース2	どちらでも可		
教育人間科学部	学校教育課程	どちらでも可	◎	○	○	○	○				◎	次の①、②及び③の要件を全て備えた者が出願できる ①日本語（読解・聴解・聴読解）の合計得点（400点満点）が <u>7割以上</u> ②日本語（記述）の得点（50点満点）が <u>35点以上</u> ③日本語以外の受験科目の得点が、 <u>平均点以上</u>	
	人間文化課程		◎				◎				◎		課さない

受験を要する教科・科目等 学部・学科等	日本留学試験										必要要件 英語科目への対応等	
	出題言語の指定 英語 日本語	日本語	理科			総合科目	数学			必要要件		
			物理	化学	生物		コース1	コース2	どちらでも可			
経済学部	どちらでも可	◎				◎	◎				合計得点が8割以上の者が出願できる	平成22年(2010年)1月以降に実施されたTOEFL又はTOEICを受験していること
経営学部	どちらでも可	◎	○	○	○	○				◎	合計得点が7割以上の者が出願できる	平成22年(2010年)1月以降に実施されたTOEFL又はTOEICを受験した者で、次の①～③のいずれかに該当する者が出願できる。 ①TOEFL(ペーパーテスト)の得点が430点以上 ②TOEFL(インターネットテスト)の得点が39点以上 ③TOEICの得点が382点以上
理工学部	機械工学・材料系学科		◎	◎	◎	◎				◎		平成22年(2010年)1月以降に実施されたTOEFL又はTOEICを受験した者
	化学・生命系学科		◎	◎	○	○	○			◎		
	建築都市・環境系学科		◎	◎	◎	○	○			◎		
	数物・電子情報系学科		◎	◎	◎	◎				◎		

注1 日本留学試験については、下記へ問い合わせてください。
独立行政法人 日本学生支援機構 (〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 TEL 03-6407-7457)

3. 出願期間

学部名	出願期間	受付方法
教育人間科学部	平成24年(2012年)1月17日(火)～1月20日(金)	窓口受付のみ
経済学部	平成24年(2012年)1月17日(火)～1月23日(月)	窓口受付及び郵送受付
経営学部	平成24年(2012年)1月23日(月)～2月1日(水)	窓口受付のみ
理工学部	平成24年(2012年)1月16日(月)～1月20日(金)	窓口受付のみ

注1. 私費外国人留学生募集要項は、各学部とも1月下旬に配付を開始します。

募集要項の請求方法等は、46・47ページを参照してください。

注2. 窓口受付にて出願する場合には、志願者本人が直接出願書類を持参して出願期間内に提出してください。

また、経済学部の郵送受付をする場合は、1月23日(月)に横浜国立大学**必着**です。

注3. TOEFL, TOEICの成績証明書は出願書類と同時に提出しなければなりません。

なお、TOEFL, TOEICの成績証明書は受験してから交付までは相当期間を要するので、出願期間に留意のうえ、早めに準備してください。

注4. 日本留学試験の成績通知書は、平成23年(2011年)6月実施分が平成23年(2011年)11月実施分のいずれか一方の成績通知書を提出してください。

4. 選抜方法

入学者の選抜は、個別学力検査等（個別学力検査・面接・小論文）、日本留学試験及び成績証明書によって行います。なお、各学部の選抜方法は以下のとおりです。

学部名	事項 大学入試 センター試験	個別学力検査等の試験科目等 (個別学力検査・面接・小論文)	日本留学 試験	試験日
教育人間科学部	課さない	面接	重視する	平成24年(2012年)2月26日
経済学部		面接 (2段階選抜を実施)	重視する	平成24年(2012年)3月12日
経営学部 昼間主コース		小論文・面接	重視する	平成24年(2012年)3月13日
理工学部		機械工学・材料系学科 } 数学及び面接 建築都市・環境系学科 } 数物・電子情報系学科 } 化学・生命系学科：数学、理科及び面接 (数学及び理科は20ページを参照)	重視する	平成24年(2012年) 2月25日～26日

注1. 経済学部は、日本留学試験およびTOEFL又はTOEICの成績により、第一次選抜を行い、その第一次選抜合格者に対し、面接を行います。

注2. 経営学部（昼間主コース）については、TOEFL又はTOEICの成績を重視します。
経営学部（夜間主コース）は募集しません。

注3. 理工学部については、TOEFL又はTOEICの成績を重視します。

5. 合格発表日

学部名	合格発表日
教育人間科学部	平成24年(2012年)3月5日(月)
経済学部	第一次選抜：平成24年(2012年)2月27日(月) 第二次選抜：平成24年(2012年)3月21日(水)
経営学部	平成24年(2012年)3月21日(水)
理工学部	平成24年(2012年)3月7日(水)

6. 志望学部の問い合わせ先

学部名	担当係	〒	住所	TEL
教育人間科学部	入試係	240-8501	横浜市保土ヶ谷区常盤台79-2	045-339-3261
経済学部	社会科学系学務第一係		横浜市保土ヶ谷区常盤台79-3	045-339-3508, 3509
経営学部	社会科学系学務第二係		横浜市保土ヶ谷区常盤台79-4	045-339-3663, 3664
理工学部	理工学系大学院等入試係		横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5	045-339-3821, 3822

VIII 障害等のある入学志願者の事前相談について

下表に該当する者(出願受付締切後の不慮の事故による負傷者等を含む)は、受験及び修学上特別な措置を必要とすることが起こり得ますので、出願する前に必ず学務部入試課へ下記の様式により事前に相談してください。

なお、下表から判断できない場合については、お尋ねください。

区 分	障 害 の 程 度
視覚障害	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由	一 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱	一 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 二 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

(様式) A 4 判縦

平成 年 月 日

横浜国立大学長 殿

ふりがな
氏 名
生年月日
住 所 〒
電話番号

横浜国立大学に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。

記

1. 志望する学部・学科・課程・コース・教育プログラム
2. 障害の種類、程度
3. 個別学力検査等の受験に際して希望する受験特別措置
4. 入学後の修学に際して希望する特別措置
5. そ の 他

(添付書類) 診断書または身体障害者手帳(写)、その他参考資料

IX 募集要項(願書)の配付

1. 募集要項の配付開始時期(予定)については、以下のとおりです。

区 分	一般入試	専門高校 卒業生	A O 入 試	推 薦 入 試	帰国生徒	外国学校 出身者	社 会 人	私費外国人 留学生	
教育人間科学部	11月 中旬	—	7月中旬	9月上旬	9月上旬	—	—	11月下旬	
経 済 学 部		—	—	—	—	8月上旬	—	11月下旬	
経営学部		昼間主コース	—	—	9月上旬	9月上旬	—	—	11月下旬
		夜間主コース	11月下旬	—	9月上旬	—	—	9月上旬	—
理 工 学 部		—	7月下旬	11月下旬	—	—	—	11月下旬	

2. 募集要項の請求方法

募集要項は次の(1)～(4)の方法により配布します。

(1) 大学のホームページでの請求

大学のホームページから直接テレメールによる資料請求ができます。

詳しくは、下記横浜国立大学ホームページをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/data/index.html>

(2) テレメール(インターネット、電話)による学生募集要項請求方法

①インターネット(携帯電話・パソコン)の場合

<http://telemail.jp>

パソコン・携帯電話各社共通アドレスです



②電話で請求する場合

テレメール(自動音声応答電話ー24時間受付)で受付けています。

下記の電話番号をダイヤルし、希望する資料の資料請求番号(6桁)をプッシュまたは、入力してください。その後は、音声ガイダンスにしたがって操作してください。受付から2, 3日程で送付されます。ただし、発送開始日までのご請求は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。その際は発送開始日から2～3日程で資料が届きます。送料は、届けられた資料に同封されている支払方法にしたがいお支払いください。(お支払いに際し、手数料が別途必要になります。)

・IP電話 050-8601-0101

IP電話：一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約11円です。

③資料請求番号(6桁)を入力又はプッシュしてください。

資 料 名	資料請求番号	送料(予定)	
一般入試学生募集要項	582652	240円	
一般入試学生募集要項及び大学案内	542652	390円	
専門高校卒業生入試募集要項	経営学部夜間主コース	542682	200円
A O入試募集要項	教育人間科学部	582672	240円
	理工学部	542672	240円
推薦入試募集要項	教育人間科学部	582682	240円
	経営学部 (昼間主・夜間主コース)	542692	240円
	理工学部	562672	200円

資 料 名		資料請求番号	送料 (予定)
帰国生徒入試募集要項	教育人間科学部	5 8 2 6 9 2	2 0 0 円
	経営学部昼間主コース	5 6 2 6 9 2	2 0 0 円
外国学校出身者入試募集要項	経済学部	5 6 2 6 8 2	2 0 0 円
社会人入試募集要項	経営学部夜間主コース	5 6 2 7 8 2	2 0 0 円
私費外国人留学生募集要項 (大学案内含む)	教育人間科学部	5 4 2 6 6 2	3 9 0 円
	経済学部	5 6 2 7 9 2	3 9 0 円
	経営学部昼間主コース	5 8 2 7 8 2	3 9 0 円
	理工学部	5 8 2 7 9 2	3 9 0 円

(3) 郵便局での請求 (一般入試学生募集要項)

全国の郵便局 (普通局、特定局) に設置されている「国公立大学・短期大学及び通信教育課程、大学校募集要項 (願書) 請求申込書」(郵便局用願書請求カタログ) に必要事項を記入の上、送料と払込手数料 (120円) を添えて、最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局の貯金窓口から申し込んでください。(「請求申込書」は、10月上旬から全国の郵便局に設置されます。)

※ 前記(1)、(2)、(3) における請求方法等の問い合わせ先

テレメールカスタマセンター Tel 050-8601-0102 (9:30~18:00)

(4) 大学での窓口配布

募集要項は学務部 (入試課) 窓口で配布する他、一般入試以外の学生募集要項は各学部の窓口においても配付します。

配布時間 9:00~17:00 (月から金曜日[祝(休)日を除く])

なお、上記配布時間以外の場合、正門守衛所にて配布しています。

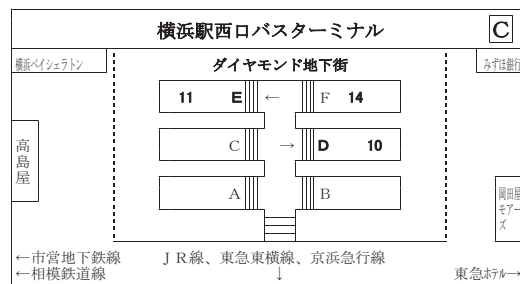
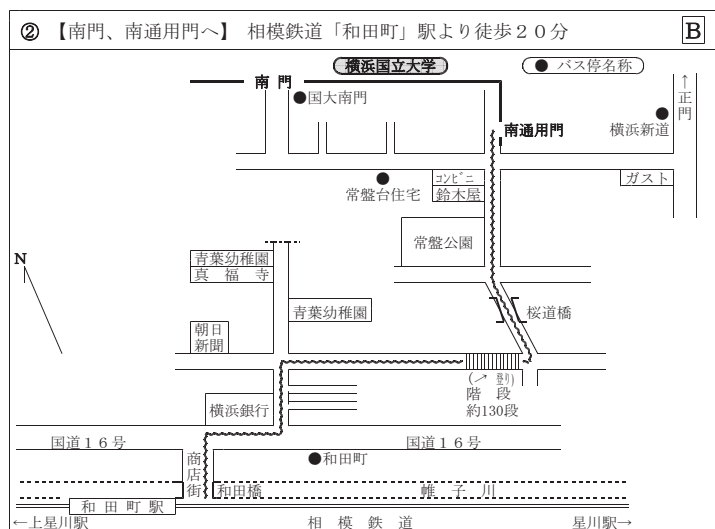
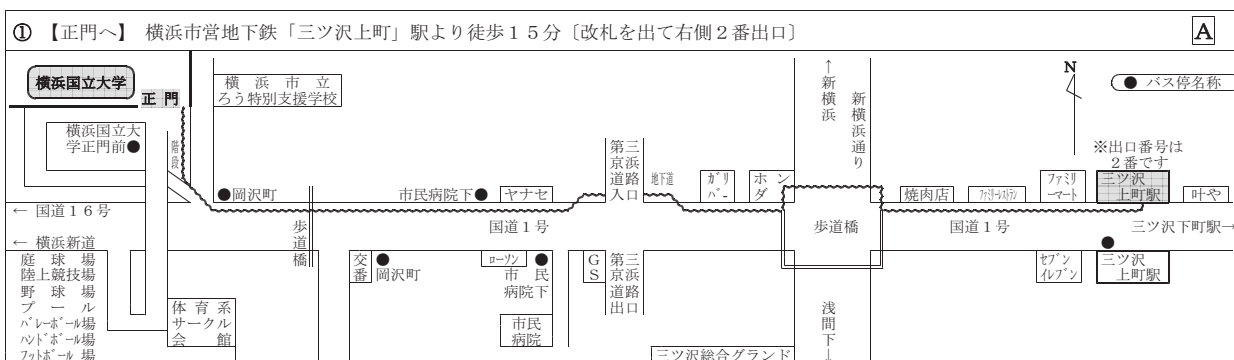
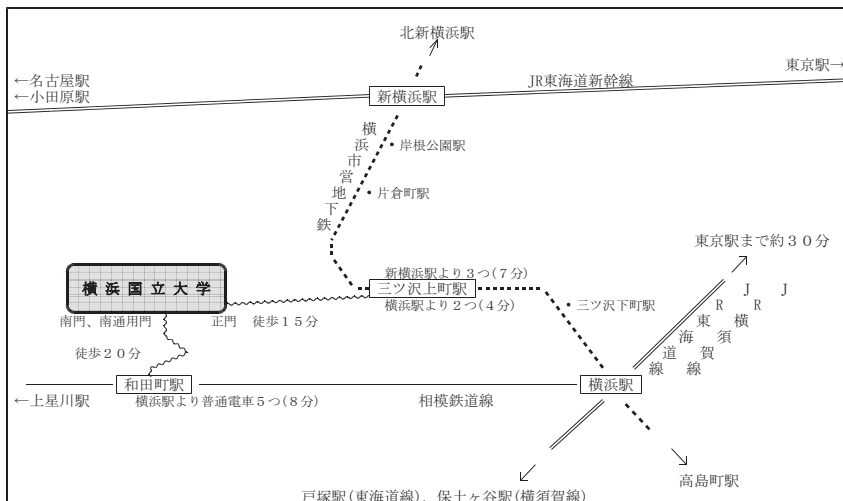
また、外来者用の駐車場は用意しておりませんので、身体に障害のある方以外は、公共交通機関をご利用ください。

3. 学部等所在地及び問い合わせ先

	請求・問い合わせ先	電 話 番 号	郵便番号・住所	
学務部入試課	入試課	045-339-3121,3123	240-8501	横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1
教育人間科学部	入試係	045-339-3261	240-8501	横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-2
経済学部	社会科学系学務第一係	045-339-3508,3509	240-8501	横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-3
経営学部	社会科学系学務第二係	045-339-3663,3664	240-8501	横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-4
理工学部	理工学系大学院等入試係	045-339-3821,3822	240-8501	横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

交通案内

(バスは、道路混雑等で予定どおり運行できないこともあり、試験当日は①または②による徒歩を奨励します。)



横浜駅からのバス案内

横浜駅西口バスターミナルから、バスで15分～25分ほどかかります。

- 平日は、大学構内を通行する路線バスが運行されます。(土曜日は運行されません。)
- 市営バス 「201系統 循環内回り 国大経由 横浜駅西口」行 (F階段14番)
 - 相鉄バス 「浜10 横浜国大経由 横浜駅西口」行 (D階段10番)
 - 市営バス 「329系統 急行 松本経由 横浜駅西口」行 (F階段14番)

以下の路線バスでは、バス停「岡沢町」で下車してください。

- 市営バス 「202系統 循環外回り 和田町経由 横浜駅西口」行 (E階段11番)
- 相鉄バス 「浜5 交通裁判所経由 横浜駅西口」行 (D階段10番)
- 神奈中バス 「01系統 松本・梅の木経由 中山駅」行 (F階段14番)
- 市営バス 「201系統 循環内回り 松本経由 横浜駅西口」行 (F階段14番) ※土曜日のみ運行

※1 各バスの時刻表や経路等は、横浜市交通局、相鉄バスまたは神奈中バスのホームページ等により各自で確認してください。(このバス案内では、運行本数が少ない路線も掲載しています。)

※2 バスは、道路混雑等で予定どおり運行できないこともありますので、試験当日は①または②による徒歩を奨励します。

◎ 入試情報

入試関係の情報を閲覧できます。

横浜国立大学 ホームページ <http://www.ynu.ac.jp/>

横浜国立大学 携帯電話サイト <http://daigakujc.jp/ynu/>



QRコード

◎ 本要項についての問い合わせ先

学務部入試課 〒240-8501

横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

045-339-3121

Email : nyushil@ynu.ac.jp

教育人間科学部 (入試係) 045-339-3261

経済学部 (社会科学系学務第一係) 045-339-3508, 3509

経営学部 (社会科学系学務第二係) 045-339-3663, 3664

理工学部 (理工学系大学院等入試係) 045-339-3821, 3822

* 問い合わせは、志願者本人が行うこと。